平成23年度
渋川市総合計画後期基本計画
策定に向けた 市民意識調査

■　結果報告書　■

平成 24 年３月
渋　　川　　市

目　　次

第１章　市民意識調査概要 1
１.調査目的 1
２.調査方法 1
（１）調査対象 1
（２）抽出数 1
（３）調査方法 1
（４）調査期間 1
（５）配布回収方法 1
３.回収結果 1
（１）回収結果 - 地区別 - 1
（２）回収結果 - 年齢別・性別 - 2
４.質問項目 2
（１）属性について 2
（２）市の取り組みに関する満足度について 2
（３）市の取り組みに関する重要度について 2
（４）まちづくりへの関心度・参加意向について 2
（５）合併後のまちづくりについて 2
（６）今後のまちづくりについて 2
（７）自由記述 2

第２章　市民意識調査の結果 3
１.各設問別の分析 3
２.重要度満足度分析 44
（1）全地区/分野別 46
（2）全地区/各施策 47
（3）渋川地区/分野別 51
（4）渋川地区/各施策 52
（5）伊香保地区/分野別 56
（6）伊香保地区/各施策 57
（7）小野上地区/分野別 61
（8）小野上地区/各施策 62
（9）子持地区/分野別 66
（10）子持地区/各施策 67
（11）赤城地区/分野別 71
（12）赤城地区/各施策 72
（13）北橘地区/分野別 76
（14）北橘地区/各施策 77
資料編 81

第１章　市民意識調査概要

１.調査目的

渋川市は平成１８年２月２０日に合併し、今年で６年目を迎えました。

合併後に策定された現在の総合計画は、平成２０年度から２９年度までの１０年間を計画期間としています。その内容は、将来の渋川市の都市像とまちづくりの理念を示す『基本構想（総合計画と同じ１０年間）』と、その構想に基づいた根幹的な取り組みを示す、『基本計画（平成２０年度から２４年度までの５年間は前期基本計画、平成２５年度から２９年度までの５年間は後期基本計画）』、そして基本計画に定めた取り組みを計画的に実施する『実施計画（毎年度見直し）』により構成されています。

今回の調査は、平成２５年度からスタートする後期基本計画の策定にあたり日頃市民の皆様が感じていることを確認するために実施しました。

調査結果については後期基本計画に反映させるとともに、今後のまちづくりに活かしていくものです。

２.調査方法

（１）調査対象

市内在住の１８歳以上の市民

（２）抽出数

4,000 件　(地区の人口バランスに考慮するとともに、男女、年齢構成に偏りの無いように住民基本台帳より無作為抽出)

（３）調査方法

アンケート調査　（アンケート用紙よる自記式アンケート）

（４）調査期間

平成 23 年９月～平成 23 年 10 月

（５）配布回収方法

郵送（別納郵便による）

３.回収結果

（１）回収結果 - 地区別 -

	人口（人）	発送数（件）	回答数（件）	回答率（%）
渋川地区	45,642	1,765	848	48.0%
伊香保地区	3,332	296	122	41.2%
小野上地区	1,838	244	116	47.5%
子持地区	12,091	600	273	45.5%
赤城地区	11,347	574	239	41.6%
北橘地区	9,812	521	203	39.0%
無回答			9	
合計	84,062	4,000	1,810	45.3%

※（人口は平成 23 年８月１日時点の住民基本台帳に基づく）

（2）回収結果 - 年齢別・性別 -

	18-19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	年齢不明	合計
男性	14	52	71	81	157	191	214	4	784
	1.8%	6.6%	9.1%	10.3%	20.0%	24.4%	27.3%	0.5%	100.0%
女性	13	76	104	130	177	217	274	5	996
	1.3%	7.6%	10.4%	13.1%	17.8%	21.8%	27.5%	0.5%	100.0%
性別不明	0	1	1	0	3	2	15	8	30
	0.0%	3.3%	3.3%	0.0%	10.0%	6.7%	50.0%	26.7%	100.0%
合計	27	129	176	211	337	410	503	17	1810
	1.5%	7.1%	9.7%	11.7%	18.6%	22.7%	27.8%	0.9%	100.0%

4.質問項目

（1）属性について

問１性別、問２年齢、問３職業、問４居住地区、問５居住年数、問６家族構成を定量的に設定しました。

（2）市の取り組みに関する満足度について

大きく以下の８分野を設定し、その中で詳細に合計 48 問について、「満足」から「不満」まで５段階に設定しました。

①道路や橋の整備、バス交通などが利用しやすくなる取り組み
②自然環境を守る取り組み
③身の回りの生活の充実と暮らしを守る取り組み
④健康づくりや福祉を充実させる取り組み
⑤教育環境の整備と、文化・スポーツ活動を充実させる取り組み
⑥観光や農業、商工業を発展させる取り組み
⑦市民が参加しやすい環境を整える取り組み
⑧無駄のないスリムな行政運営を行う取り組み

（3）市の取り組みに関する重要度について

満足度と同じ８分野・詳細設問 48 問について、「重要」から「重要でない」までに５段階に設定しました。

（4）まちづくりへの関心度・参加意向について

関心度については、「非常に関心がある」から「まったく関心がない」までの５段階に設定しました。

市民活動の参加経験と今後の参加意向を設定。参加意向が無い方には、その理由を複数回答にて設定しました。

（5）合併後のまちづくりについて

市民の実感を「まちづくりが進んだ」から「まちづくりが進んでいない」まで３段階にて設定しました。

（6）今後のまちづくりについて

16 の主な施策について、５つまでの複数回答で選択していただき、その上位５つを抽出しました。

（7）自由記述

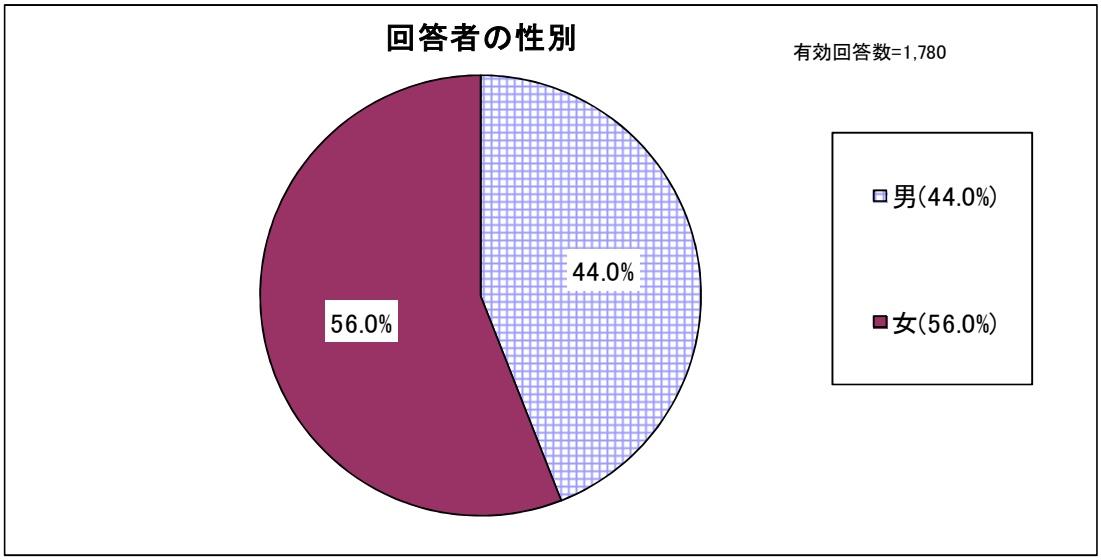
今後のまちづくりについて意見、要望、お気づきの点などを自由回答にて設定しました。

第２章　市民意識調査の結果

１.各設問別の分析

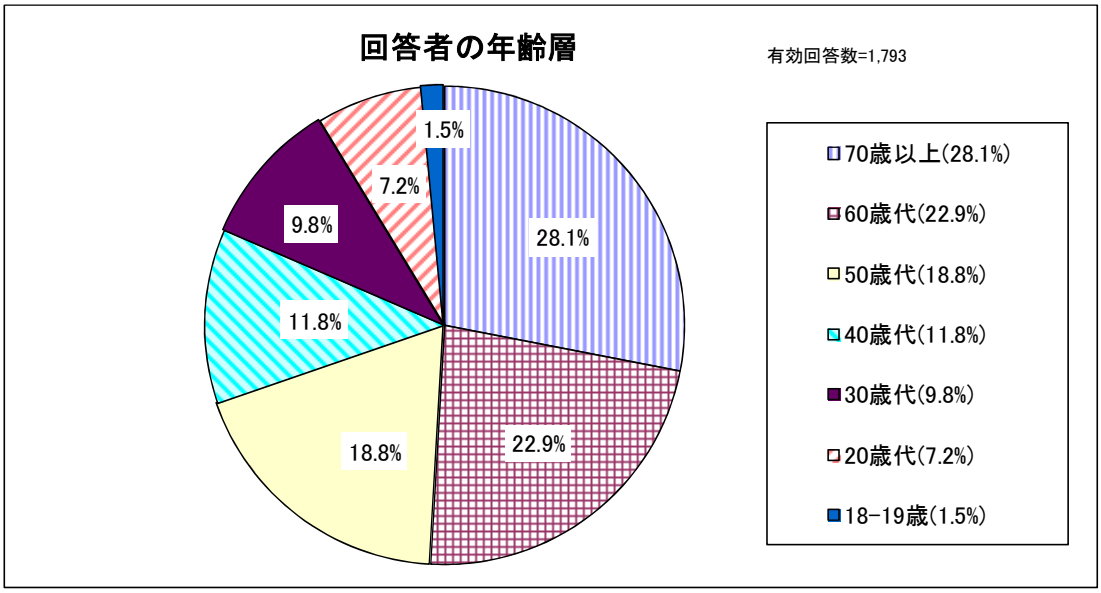
【問 1】あなたの性別はどちらですか。（１つを選んで○をつけてください）

男性が 44.0%、女性が 56.0%であり、女性からの回答が上回っています。
前回調査の男性が 46.8%、女性が 52.8%と比較すると女性からの回答がやや増加しています。

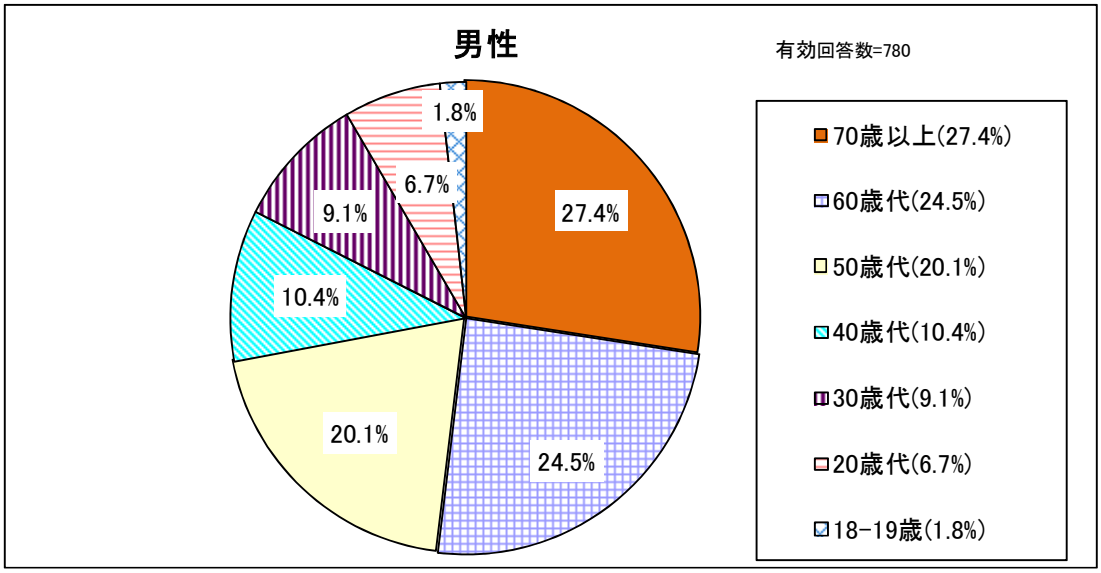


【問 2】あなたの年齢はおいくつですか。（１つを選んで○をつけてください）

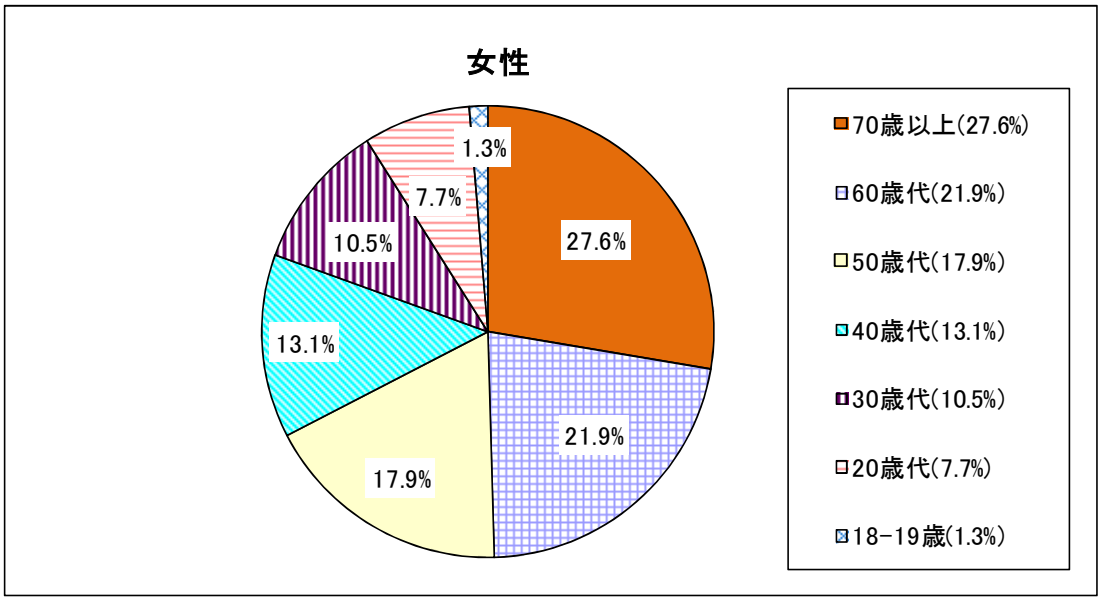
回答者の年齢層は 70 歳以上が 28.1%と最も多く、次いで 60 歳代が 22.9%、50 歳代が 18.8%の順に多くなっています。
このことから、回答者の高齢化が進んでいることがうかがえます。



男性では 70 歳以上からの回答が 27.4%と最も高くなっており、次いで 60 歳代 24.5%、50 歳代 20.1%の順に高くなっています。
50 歳以上からの回答が 72.1%と全体の 3 分の 2 以上を占める結果となりました。
一方で 30 歳代以下からの回答は 17.6%となっております。



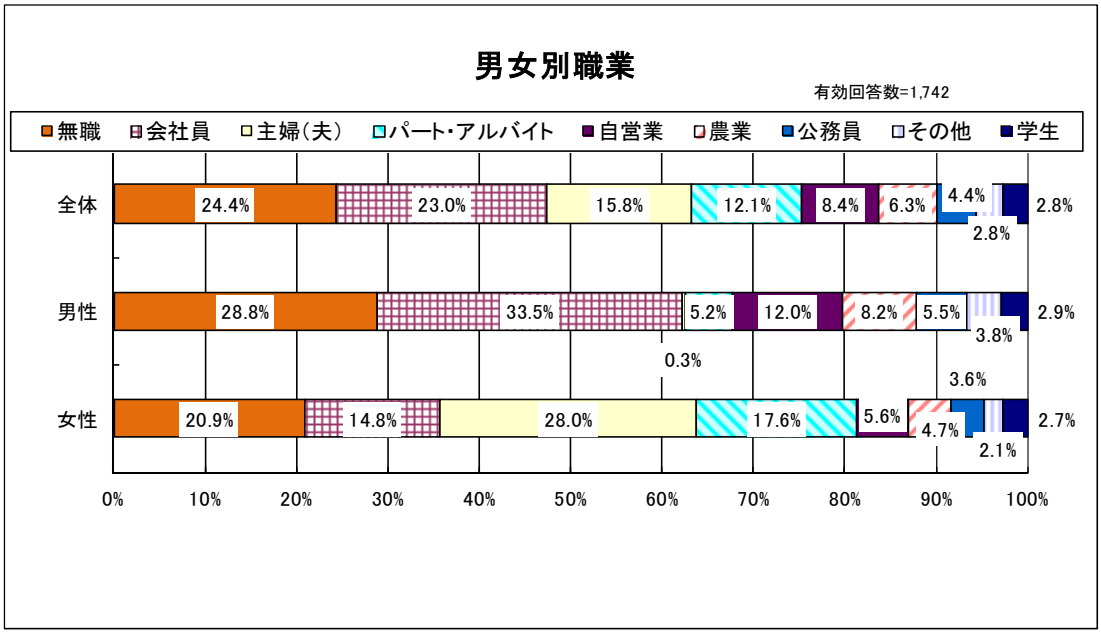
女性では 70 歳以上からの回答が 27.6%と最も高くなっており、次いで 60 歳代 21.9%、50 歳代 17.9%の順に高くなっています。
50 歳代以上からの回答が 67.4%と、全体の 3 分の 2 以上を占める結果となりました。
一方で 30 歳代以下からの回答は 19.5%となっています。



【問３】あなたの主なご職業はどれにあてはまりますか。
（１つを選んで○をつけてください）

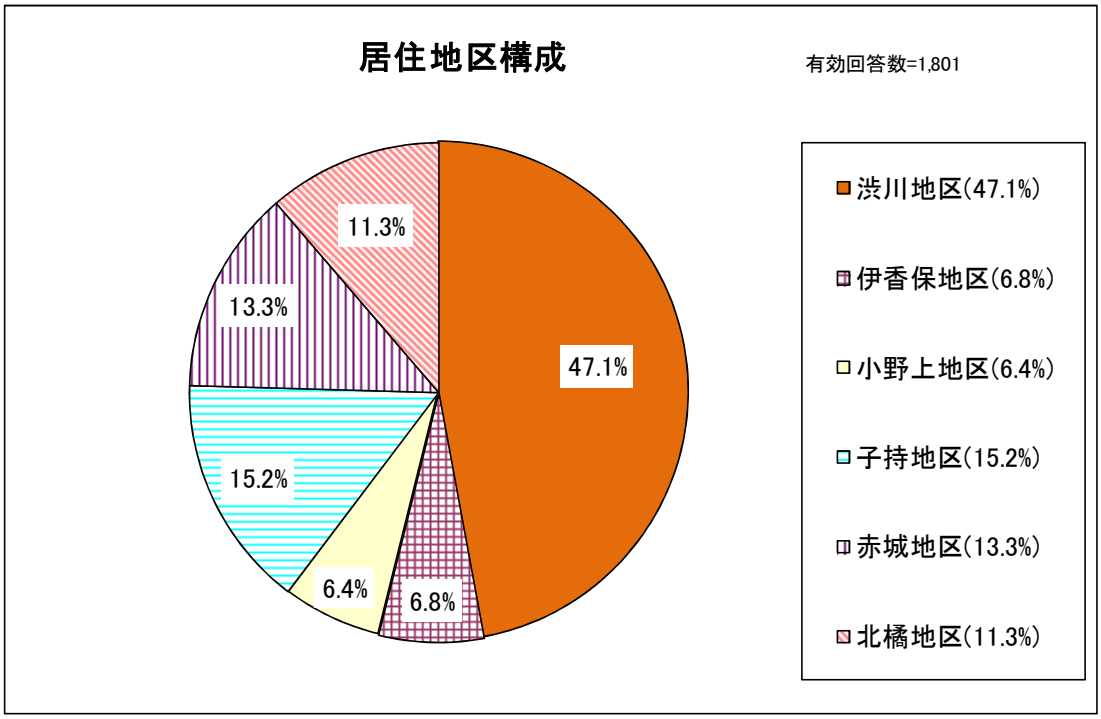
回答者の職業構成は、無職が 24.4%と最も多く、次いで会社員が 23.0%、主婦（夫）が 15.8%の順に多くなっています。

男性の無職は 28.8%であり女性の 20.9%と比較して 7.9 ポイント高くなっています。一方、パート・アルバイトを含めた有職者比率が男性 64.3%、女性 45.3%と男性が 19.0 ポイント高くなっています。



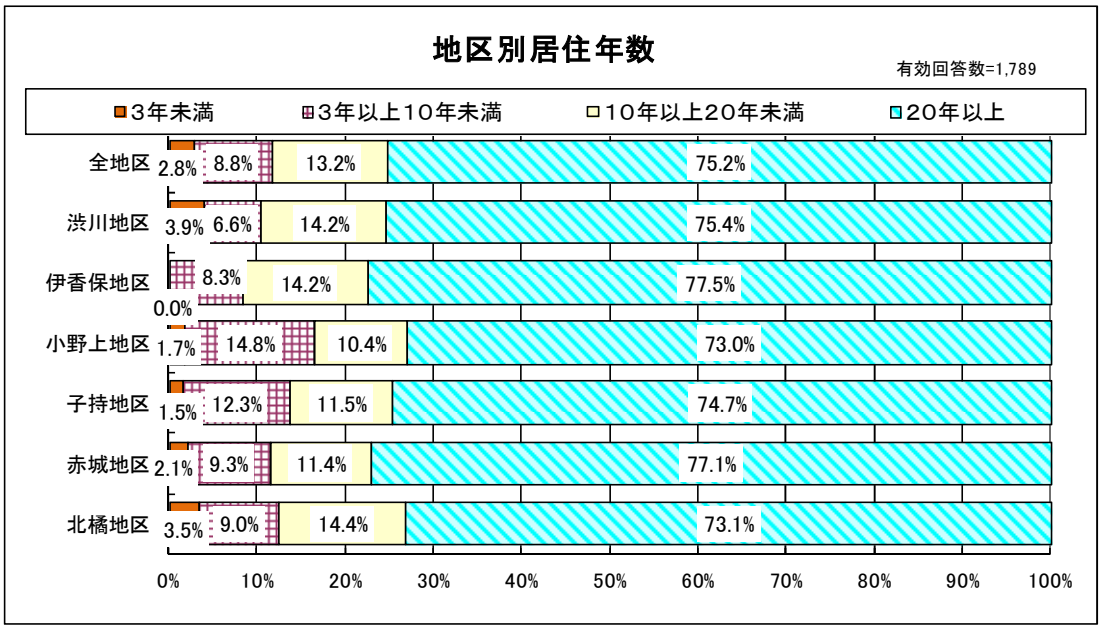
【問４】あなたのお住まいはどちらですか。（１つを選んで○をつけてください）

渋川地区が 47.1%と最も高くなっており、次いで子持地区 15.2%、赤城地区 13.3%の順に高くなっています。



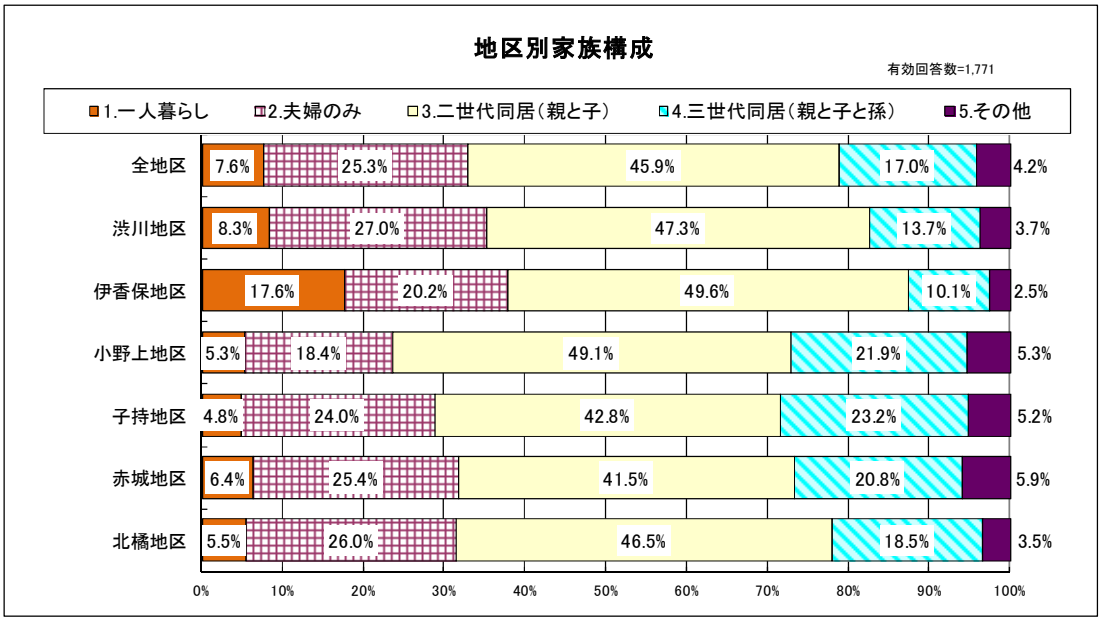
【問５】あなたが渋川市にお住まいになっている年数をお答えください。なお、転居されたことのある方は、通算の年数でお答えください。（１つを選んで○をつけてください）

各地区において居住年数 20 年以上が 70.0%以上を占めており、特に伊香保地区では 77.5%と最も高くなっています。一方、居住年数 3 年未満については伊香保地区が 0.0%であるのに対し、渋川地区では 3.9%となっています。



【問６】あなたの現在の家族構成はどれにあてはまりますか。
（１つを選んで○をつけてください）

各地区において二世代同居（親と子）が 40.0%以上となっています。
特に伊香保地区では 49.6%と最も高くなっています。
また、一人暮らしは各地区で 5.0%前後となっていますが、伊香保地区では 17.6%と最も高くなっています。

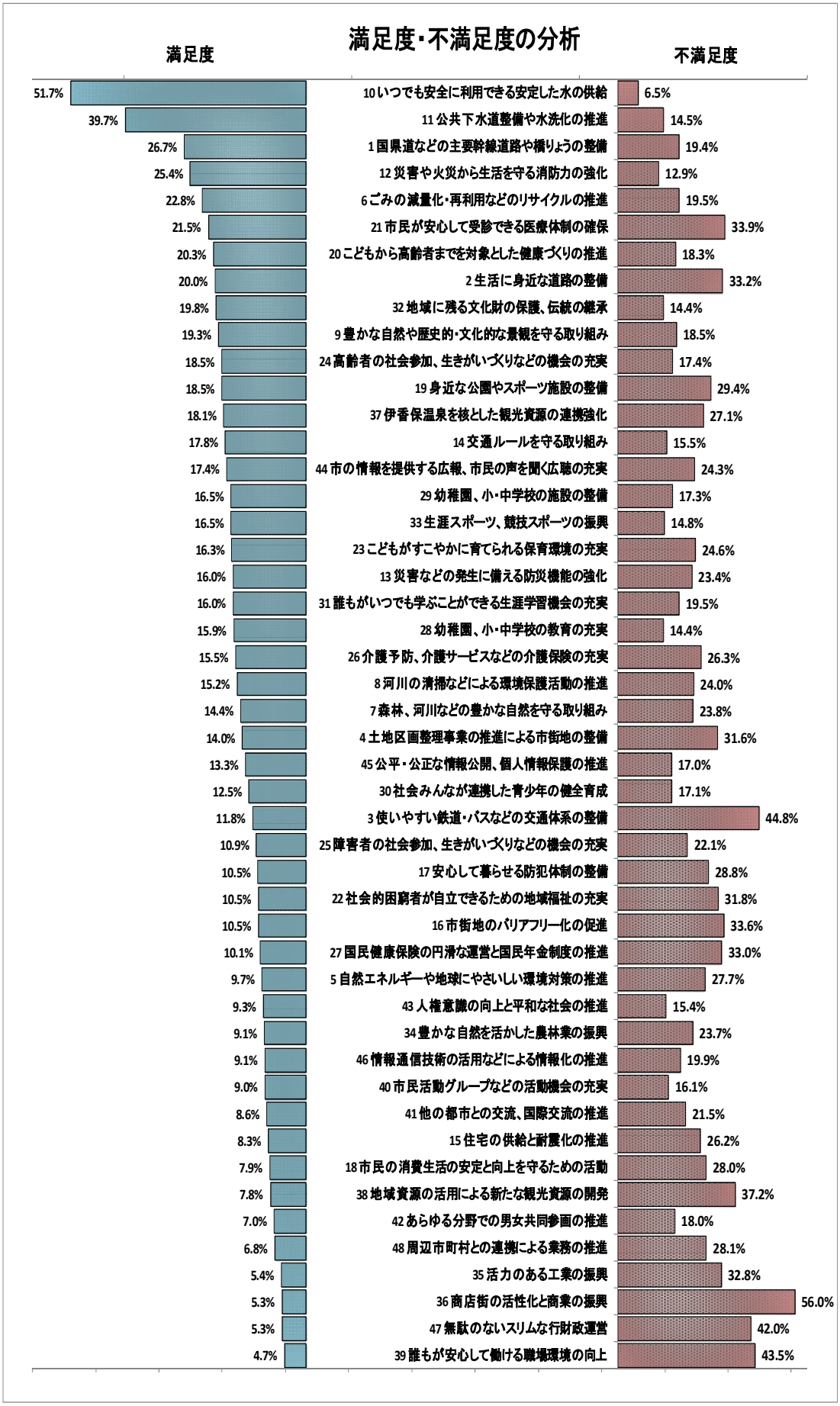


【問 7】あなたは市の取り組みについて、どのように感じていますか。次の項目それぞれについて、「満足度」欄の５段階評価の中から、１つずつ選んで番号に○をつけてください。

（1）各施策の満足度・不満足度

満足度については、「10 いつでも安全に利用できる安定した水の供給」に対する満足度が 51.7%と最も高く、次いで「11 公共下水道整備や水洗化の推進 39.7%」「1 国県道などの主要幹線道路や橋りょうの整備 26.7%」「12 災害や火災から生活を守る消防力の強化 25.4%」「6 ごみの減量化・再利用などのリサイクルの推進 22.8%」の順に高くなっています。

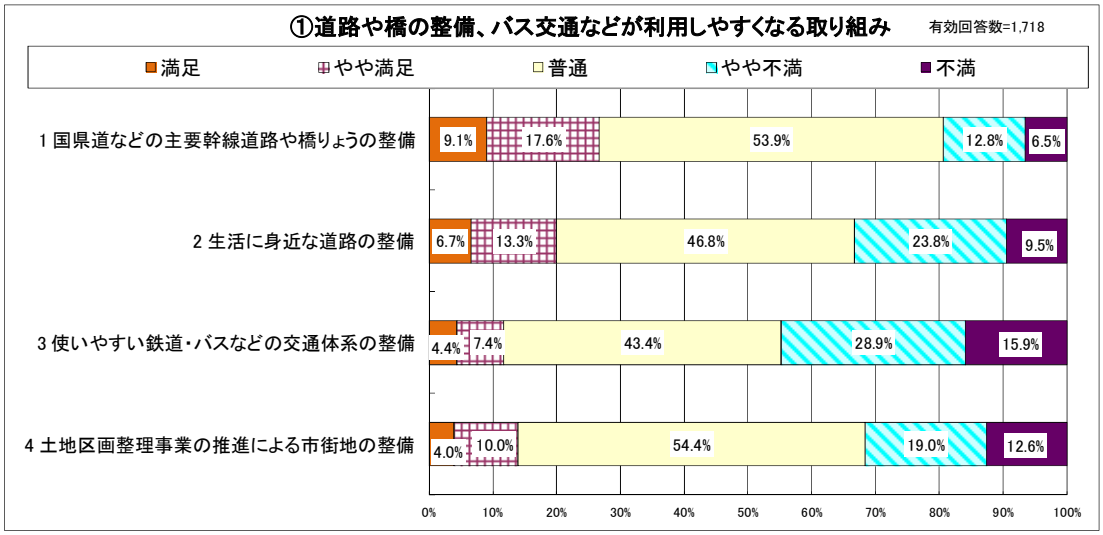
不満足度については「36 商店街の活性化と商業の振興」に対する不満足度が 56.0%と最も高く、次いで「3 使いやすい鉄道・バスなどの交通体系の整備 44.8%」「39 誰もが安心して働ける職場環境の向上 43.5%」「47 無駄のないスリムな行財政運営 42.0%」「38 地域資源の活用による新たな観光資源の開発 37.2%」の順に高くなっています。


満足度・不満足度の分析
満足度
不満足度
51.7% 10 いつでも安全に利用できる安定した水の供給 6.5%
39.7% 11 公共下水道整備や水洗化の推進 14.5%
26.7% 1 国県道などの主要幹線道路や橋りょうの整備 19.4%
25.4% 12 災害や火災から生活を守る消防力の強化 12.9%
22.8% 6 ごみの減量化・再利用などのリサイクルの推進 19.5%
21.5% 21 市民が安心して受診できる医療体制の確保 33.9%
20.3% 20 こどもから高齢者までを対象とした健康づくりの推進 18.3%
20.0% 2 生活に身近な道路の整備 33.2%
19.8% 32 地域に残る文化財の保護、伝統の継承 14.4%
19.3% 9 豊かな自然や歴史的・文化的な景観を守る取り組み 18.5%
18.5% 24 高齢者の社会参加、生きがいづくりなどの機会の充実 17.4%
18.5% 19 身近な公園やスポーツ施設の整備 29.4%
18.1% 37 伊香保温泉を核とした観光資源の連携強化 27.1%
17.8% 14 交通ルールを守る取り組み 15.5%
17.4% 44 市の情報を提供する広報、市民の声を聞く広聴の充実 24.3%
16.5% 29 幼稚園、小・中学校の施設の整備 17.3%
16.5% 33 生涯スポーツ、競技スポーツの振興 14.8%
16.3% 23 こどもがすこやかに育てられる保育環境の充実 24.6%
16.0% 13 災害などの発生に備える防災機能の強化 23.4%
16.0% 31 誰もがいつでも学ぶことができる生涯学習機会の充実 19.5%
15.9% 28 幼稚園、小・中学校の教育の充実 14.4%
15.5% 26 介護予防、介護サービスなどの介護保険の充実 26.3%
15.2% 8 河川の清掃などによる環境保護活動の推進 24.0%
14.4% 7 森林、河川などの豊かな自然を守る取り組み 23.8%
14.0% 4 土地区画整理事業の推進による市街地の整備 31.6%
13.3% 45 公平・公正な情報公開、個人情報保護の推進 17.0%
12.5% 30 社会みんなが連携した青少年の健全育成 17.1%
11.8% 3 使いやすい鉄道・バスなどの交通体系の整備 44.8%
10.9% 25 障害者の社会参加、生きがいづくりなどの機会の充実 22.1%
10.5% 17 安心して暮らせる防犯体制の整備 28.8%
10.5% 22 社会的困窮者が自立できるための地域福祉の充実 31.8%
10.5% 16 市街地のバリアフリー化の促進 33.6%
10.1% 27 国民健康保険の円滑な運営と国民年金制度の推進 33.0%
9.7% 5 自然エネルギーや地球にやさしい環境対策の推進 27.7%
9.3% 43 人権意識の向上と平和な社会の推進 15.4%
9.1% 34 豊かな自然を活かした農林業の振興 23.7%
9.1% 46 情報通信技術の活用などによる情報化の推進 19.9%
9.0% 40 市民活動グループなどの活動機会の充実 16.1%
8.6% 41 他の都市との交流、国際交流の推進 21.5%
8.3% 15 住宅の供給と耐震化の推進 26.2%
7.9% 18 市民の消費生活の安定と向上を守るための活動 28.0%
7.8% 38 地域資源の活用による新たな観光資源の開発 37.2%
7.0% 42 あらゆる分野での男女共同参画の推進 18.0%
6.8% 48 周辺市町村との連携による業務の推進 28.1%
5.4% 35 活力のある工業の振興 32.8%
5.3% 36 商店街の活性化と商業の振興 56.0%
5.3% 47 無駄のないスリムな行財政運営 42.0%
4.7% 39 誰もが安心して働ける職場環境の向上 43.5%

（2）分野別の満足度・不満足度

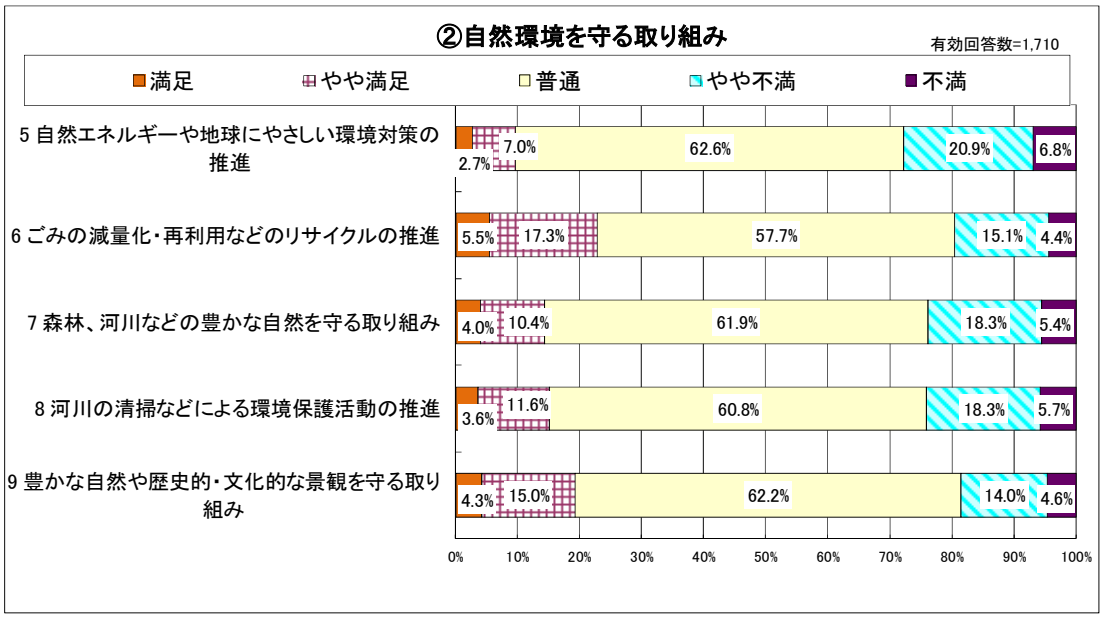
分野別（1）道路や橋の整備、バス交通などが利用しやすくなる取り組み

「1 国県道などの主要幹線道路や橋りょうの整備」（やや満足以上：26.7%）と「2 生活に身近な道路の整備」（やや満足以上：20%）の満足度が高く、他方、「3 使いやすい鉄道・バスなどの交通体系の整備」（やや不満以下：44.8%）と「4 土地区画整理事業の推進による市街地の整備」（やや不満以下：31.6%）の不満度が高い傾向にあります。



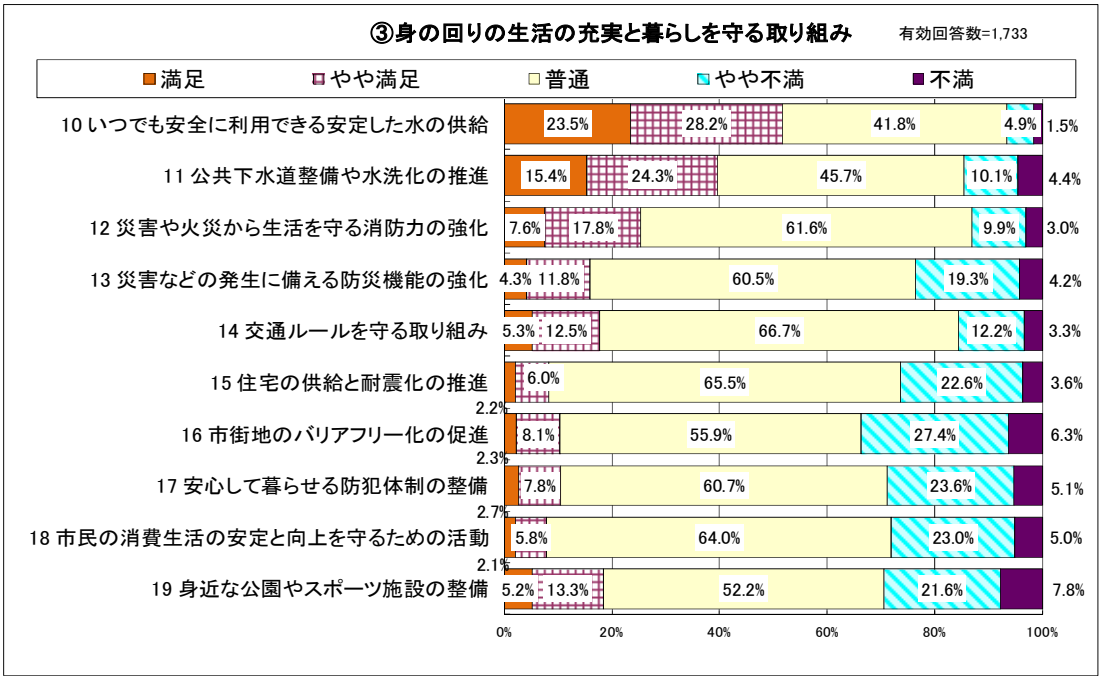
分野別（2）自然環境を守る取り組み

「6 ごみの減量化・再利用などのリサイクルの推進」（やや満足以上：22.8%）の満足度が高く、 「5 自然エネルギーや地球にやさしい環境対策の推進」（やや満足以上：9.2%）の満足度が低い傾向にあります。
なお、5～9 のいずれの項目も概ね 60%が普通という回答となっています。



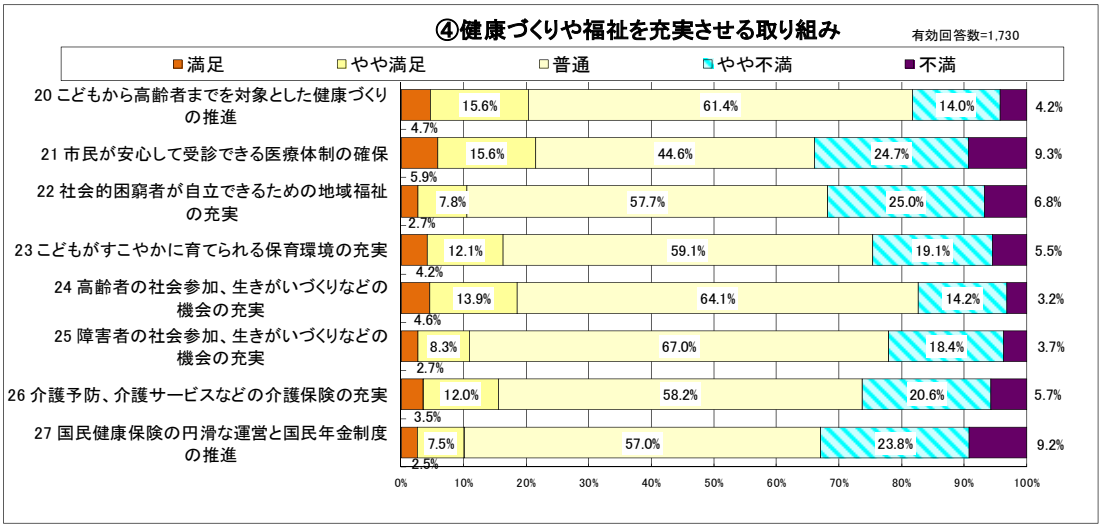
分野別（3）身の回りの生活の充実と暮らしを守る取り組み

「10 いつでも安全に利用できる安定した水の供給」（やや満足以上：51.7%）と「11 公共下水道整備や水洗化の推進」（やや満足以上：39.7%）高く、他方、「18 市民の消費生活の安定と向上を守るための活動」（やや満足以上：7.9%）、「15 住宅の供給と耐震化の推進」（やや満足以上：8.2%）、「16 市街地のバリアフリー化の促進」（やや満足以上：10.4%）の満足度が低い傾向にあります。



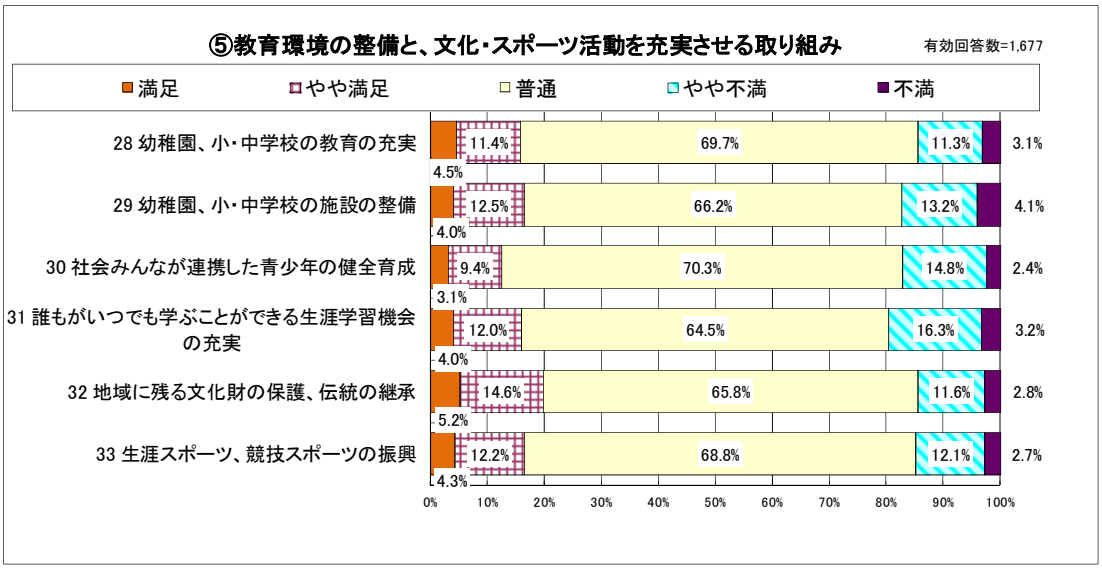
分野別（4）健康づくりや福祉を充実させる取り組み

「20 こどもから高齢者までを対象とした健康づくりの推進」（やや満足以上：20.3%）、「24 高齢者の社会的参加、生きがいづくりなどの機会の充実」（やや満足以上：18.5%）の満足度が高い傾向にあります。
他方、「21 市民が安心して受診できる医療体制の確保」（やや不満以下：34.0%）、「27 国民健康保険の円滑な運営と国民年金制度の推進」（やや不満以下：33.0%）の不満度が高い傾向にあります。



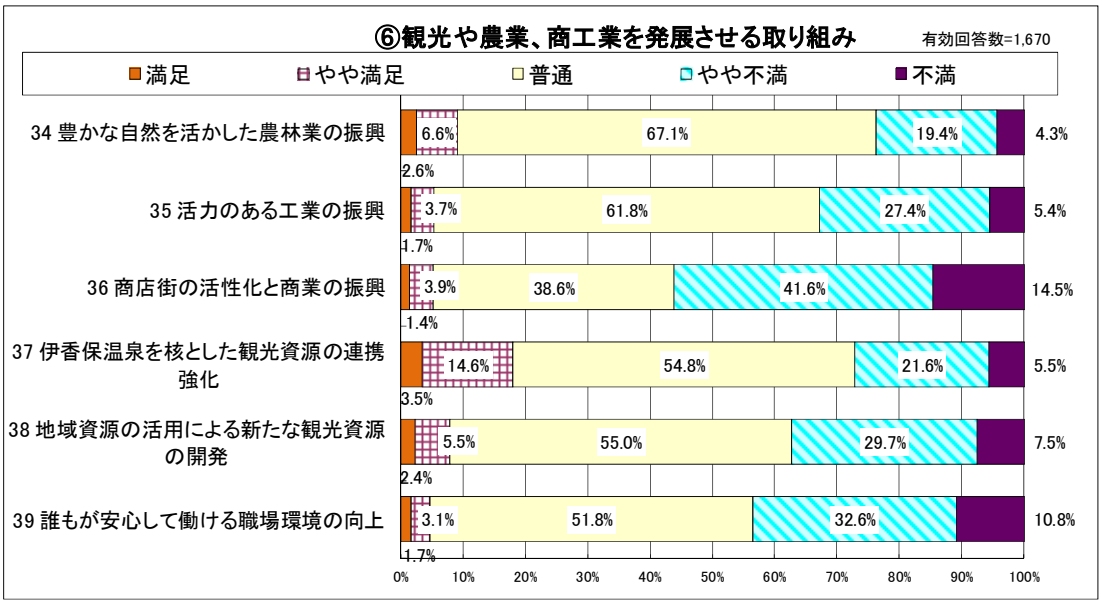
分野別（5）教育環境の整備と、文化・スポーツ活動を充実させる取り組み

いずれの項目も、普通が 65%程度と高く、満足度・不満度ともに低い傾向にあります。



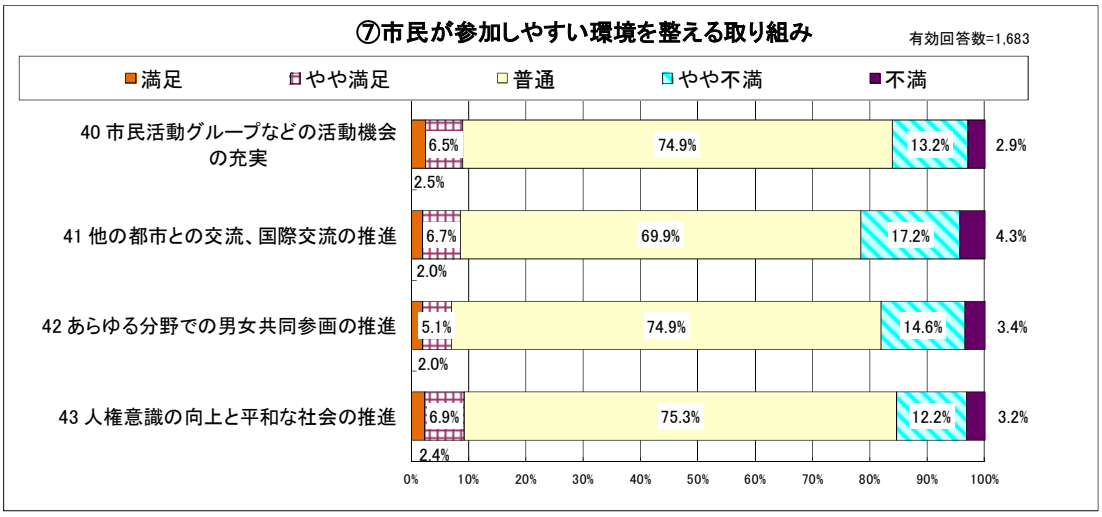
分野別（6）観光や農業、商工業を発展させる取り組み

「37 伊香保温泉を核とした観光資源の連携強化」（やや満足以上：18.1%）の満足度が高いものの、「36 商店街の活性化と商業の振興」（やや不満以下：56.1%）と「39 誰もが安心して働ける職場環境の向上」（やや不満以下：43.4%）続いて「38 地域資源の活用による新たな観光資源の開発」（やや不満以下：37.2%）が不満度の高い傾向にあります。



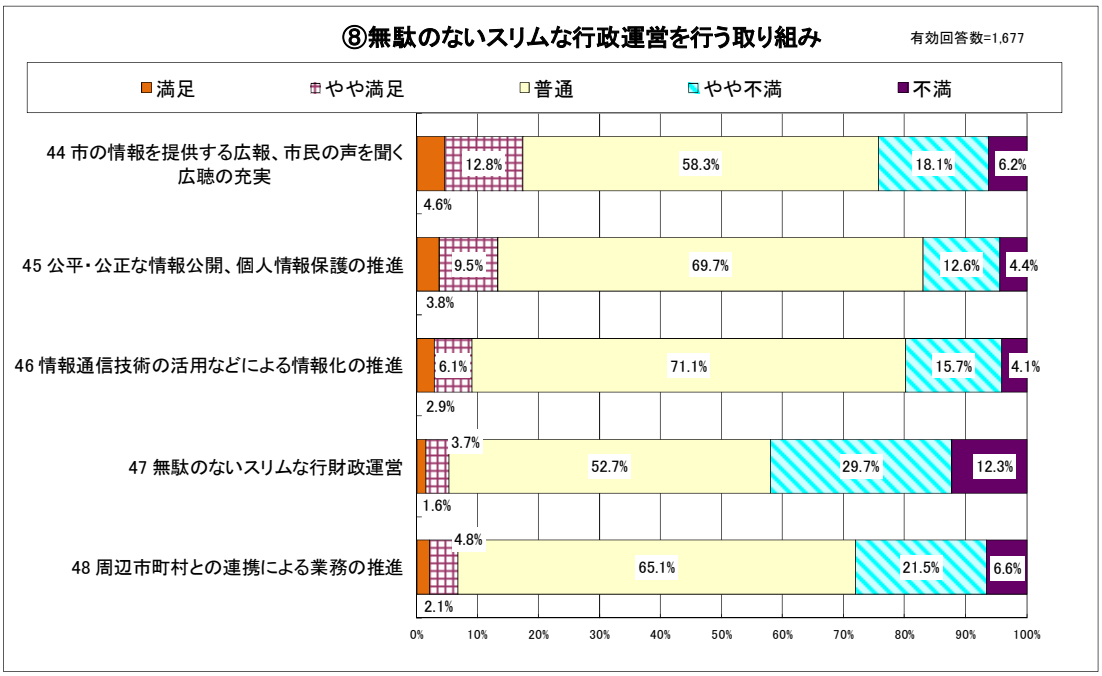
分野別（7）市民が参加しやすい環境を整える取り組み

いずれの項目も、普通が 70%程度と高く、満足度・不満度ともに低い傾向にあります。



分野別（8）無駄のないスリムな行政運営を行う取り組み

「44 市の情報を提供する広報、市民の声を聞く広聴の充実」（やや満足以上：17.4%）の満足度が高いものの、「47 無駄のないスリムな行財政運営」（やや不満以下：42.0%）と「48 周辺市町村との連携による業務の推進」（やや不満以下:28.1%）の不満度が高い傾向にあります。

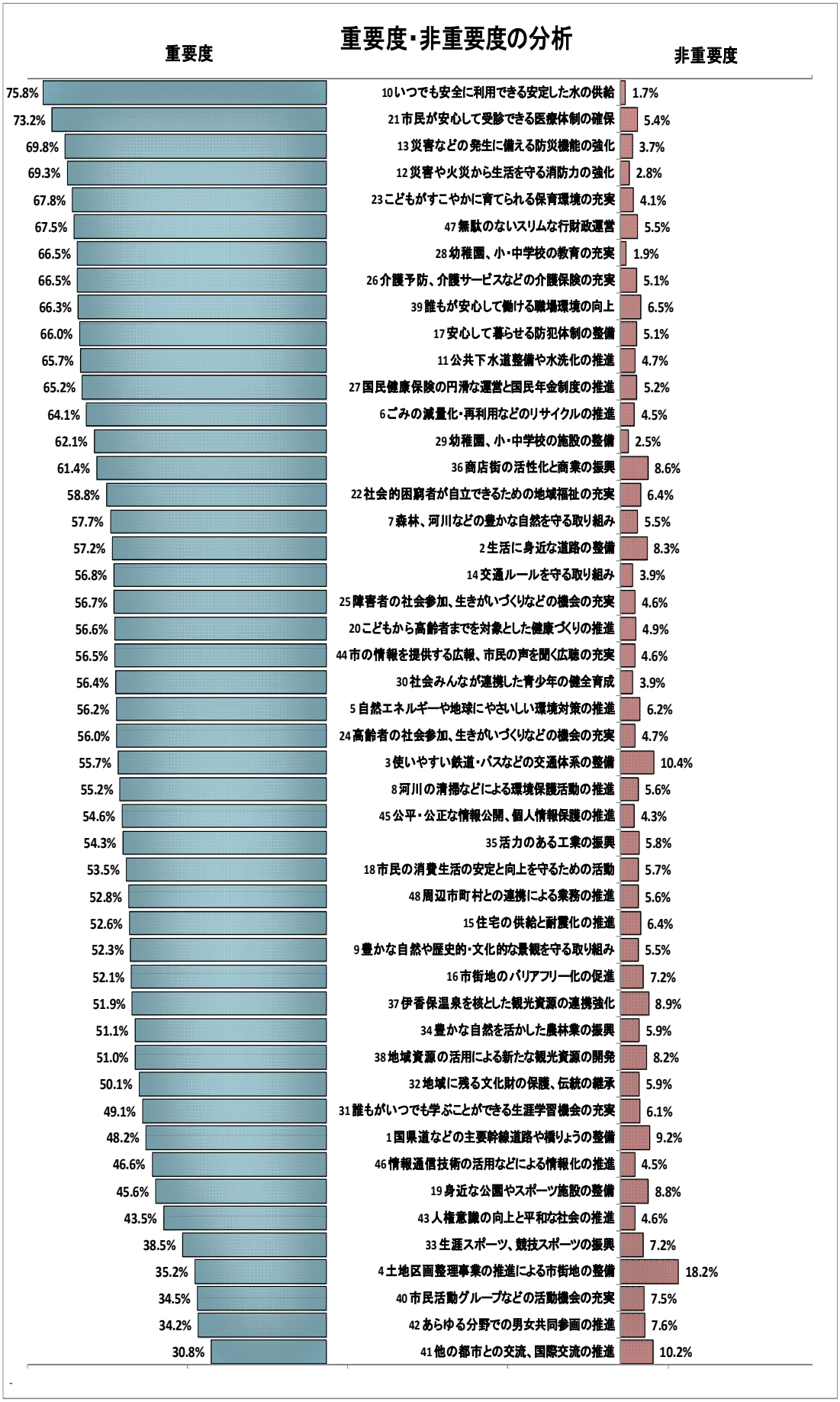


【問8】あなたは市の取り組みについて、どのように感じていますか。次の項目それぞれについて、「重要度」欄の５段階評価の中から、１つずつ選んで番号に○をつけてください。

（1）各施策の重要度・非重要度

重要度については「10 いつでも安全に利用できる安定した水の供給 75.8%」「13 災害などの発生に備える防災機能の強化 69.8%」「12 災害や火災から生活を守る消防力の強化 69.3%」といった項目が上位に来ていることから、身の回りの生活の充実と暮らしを守る取り組みについて市民の関心度が高いと思われます。特に、災害に関しての関心はますます高まっているものと考えられます。

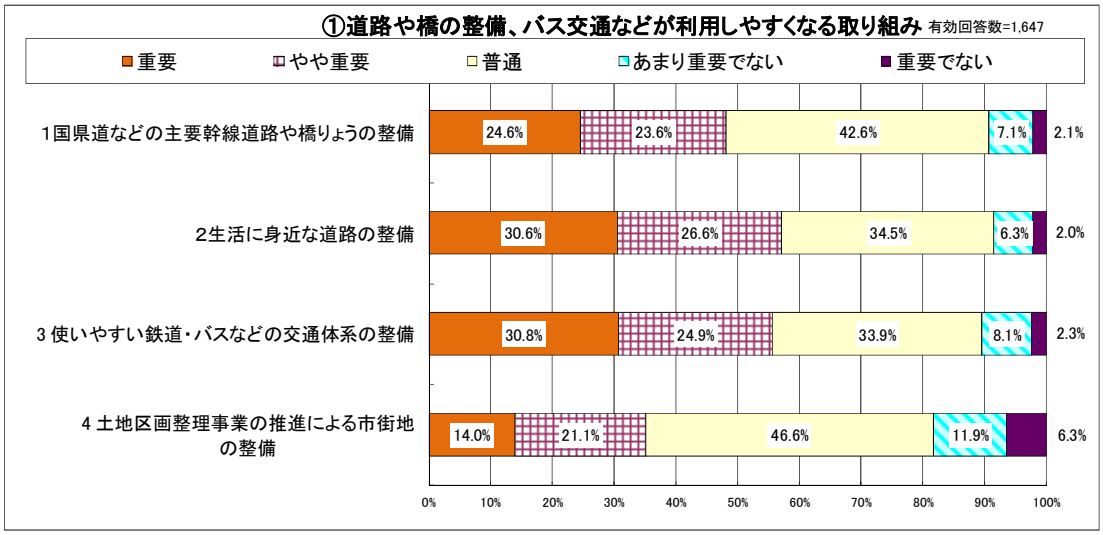
非重要度については「4 土地区画整理事業の推進による市街地の整備 18.2%」「3 使いやすい鉄道・バスなどの交通体系の整備 10.4%」「1 国県道などの主要幹線道路や橋りょうの整備 9.2%」といった項目が上位に来ていることから、道路や橋の整備に関する重要度は低いと考えられます。


重要度・非重要度の分析
重要度
非重要度
75.8% 10いつでも安全に利用できる安定した水の供給 1.7%
73.2% 21市民が安心して受診できる医療体制の確保 5.4%
69.8% 13災害などの発生に備える防災機能の強化 3.7%
69.3% 12災害や火災から生活を守る消防力の強化 2.8%
67.8% 23こどもがすこやかに育てられる保育環境の充実 4.1%
67.5% 47無駄のないスリムな行財政運営 5.5%
66.5% 28幼稚園、小・中学校の教育の充実 1.9%
66.5% 26介護予防、介護サービスなどの介護保険の充実 5.1%
66.3% 39誰もが安心して働ける職場環境の向上 6.5%
66.0% 17安心して暮らせる防犯体制の整備 5.1%
65.7% 11公共下水道整備や水洗化の推進 4.7%
65.2% 27国民健康保険の円滑な運営と国民年金制度の推進 5.2%
64.1% 6ごみの減量化・再利用などのリサイクルの推進 4.5%
62.1% 29幼稚園、小・中学校の施設の整備 2.5%
61.4% 36商店街の活性化と商業の振興 8.6%
58.8% 22社会的困窮者が自立できるための地域福祉の充実 6.4%
57.7% 7森林、河川などの豊かな自然を守る取り組み 5.5%
57.2% 2生活に身近な道路の整備 8.3%
56.8% 14交通ルールを守る取り組み 3.9%
56.7% 25障害者の社会参加、生きがいづくりなどの機会の充実 4.6%
56.6% 20こどもから高齢者までを対象とした健康づくりの推進 4.9%
56.5% 44市の情報を提供する広報、市民の声を聞く広聴の充実 4.6%
56.4% 30社会みんなが連携した青少年の健全育成 3.9%
56.2% 5自然エネルギーや地球にやさしい環境対策の推進 6.2%
56.0% 24高齢者の社会参加、生きがいづくりなどの機会の充実 4.7%
55.7% 3使いやすい鉄道・バスなどの交通体系の整備 10.4%
55.2% 8河川の清掃などによる環境保護活動の推進 5.6%
54.6% 45公平・公正な情報公開、個人情報保護の推進 4.3%
54.3% 35活力のある工業の振興 5.8%
53.5% 18市民の消費生活の安定と向上を守るための活動 5.7%
52.8% 48周辺市町村との連携による業務の推進 5.6%
52.6% 15住宅の供給と耐震化の推進 6.4%
52.3% 9豊かな自然や歴史的・文化的な景観を守る取り組み 5.5%
52.1% 16市街地のバリアフリー化の促進 7.2%
51.9% 37伊香保温泉を核とした観光資源の連携強化 8.9%
51.1% 34豊かな自然を活かした農林業の振興 5.9%
51.0% 38地域資源の活用による新たな観光資源の開発 8.2%
50.1% 32地域に残る文化財の保護、伝統の継承 5.9%
49.1% 31誰もがいつでも学ぶことができる生涯学習機会の充実 6.1%
48.2% 1国県道などの主要幹線道路や橋りょうの整備 9.2%
46.6% 46情報通信技術の活用などによる情報化の推進 4.5%
45.6% 19身近な公園やスポーツ施設の整備 8.8%
43.5% 43人権意識の向上と平和な社会の推進 4.6%
38.5% 33生涯スポーツ、競技スポーツの振興 7.2%
35.2% 4土地区画整理事業の推進による市街地の整備 18.2%
34.5% 40市民活動グループなどの活動機会の充実 7.5%
34.2% 42あらゆる分野での男女共同参画の推進 7.6%
30.8% 41他の都市との交流、国際交流の推進 10.2%

（2）分野別の重要度・非重要度

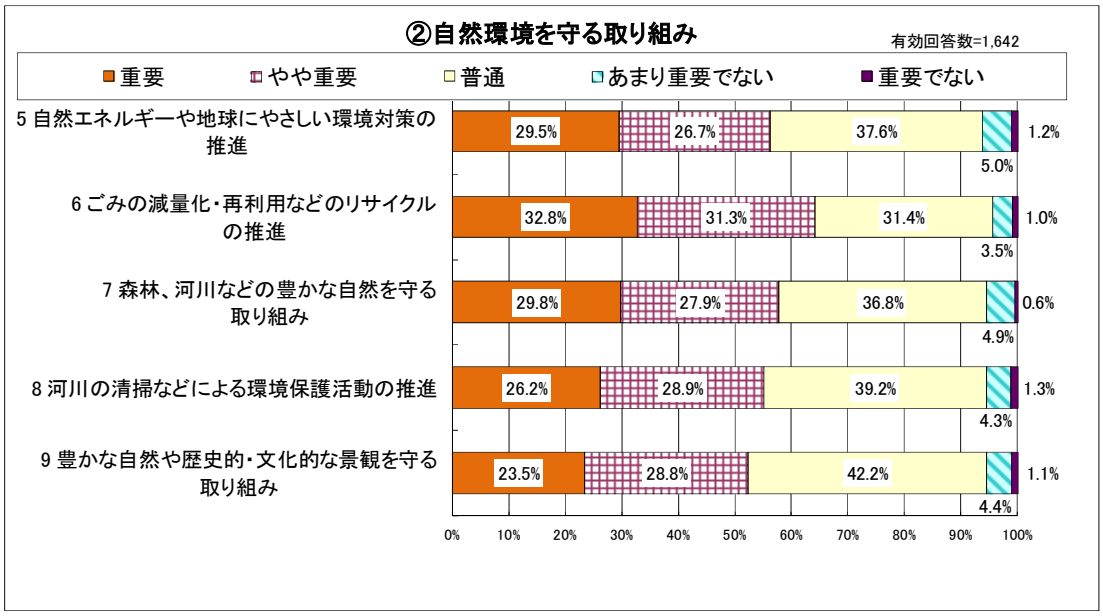
分野別（1）道路や橋の整備、バス交通などが利用しやすくなる取り組み

「2 生活に身近な道路の整備」（やや重要以上：57.2%）と「3 使いやすい鉄道・バスなどの交通体系の整備」（やや重要以上：55.7%）の重要度が高く、「4 土地区画整理事業の推進による市街地の整備」（やや重要以上：35.1%）にかかる重要度は低い傾向にあります。



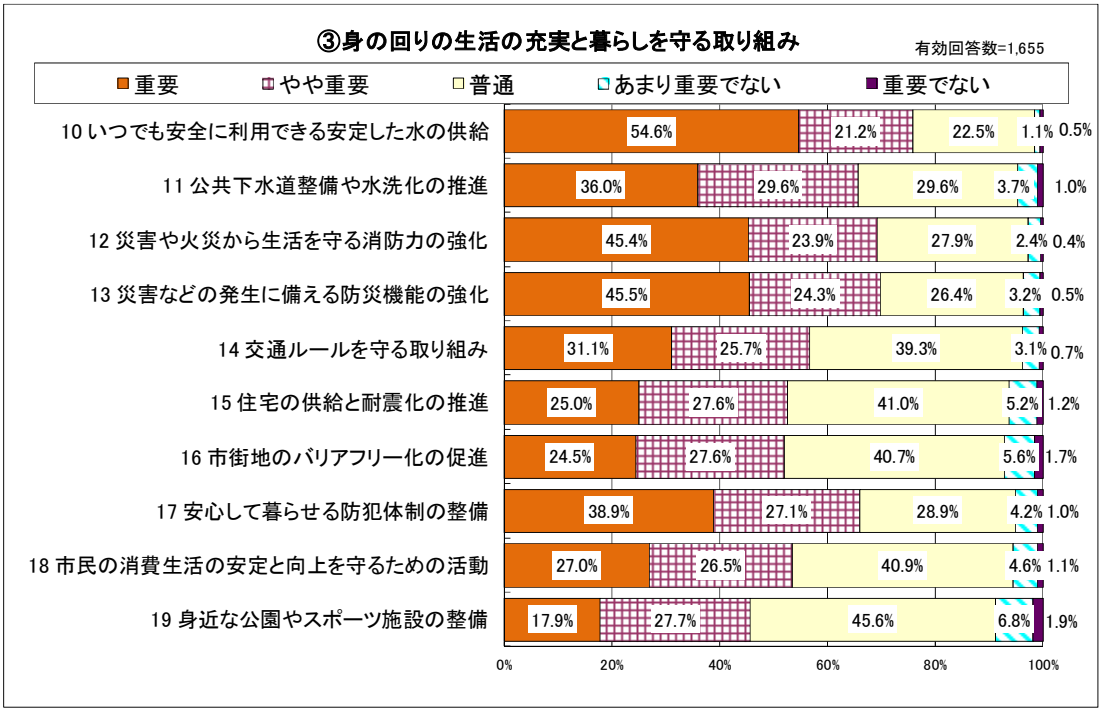
分野別（2）自然環境を守る取り組み

「6 ごみの減量化・再利用などのリサイクルの推進」(やや重要以上：64.1%)が比較的重要度は高いものの、当該分野全体のいずれの項目も重要度が高い傾向にあります。



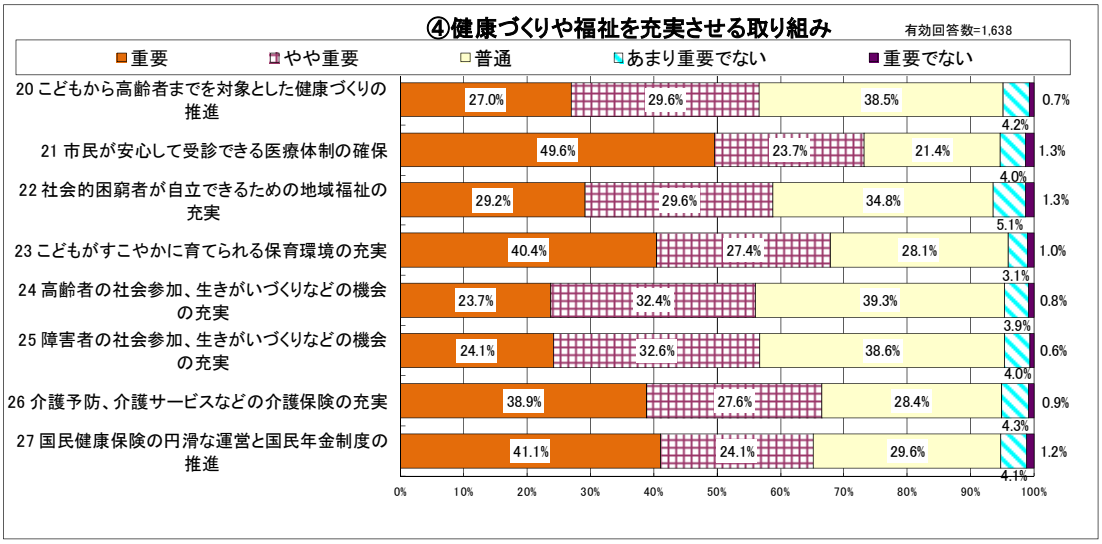
分野別（3）身の回りの生活の充実と暮らしを守る取り組み

「10 いつでも安全に利用できる安定した水の供給」（やや重要以上：75.8%）、「13 災害などの発生に備える防災機能の強化」（やや重要以上：69.8%）、「12 災害や火災から生活を守る消防力の強化」（やや重要以上：69.3%）の重要度が非常に高い傾向にあります。また、当該分野全体のいずれの項目も重要度が高い傾向にあります。



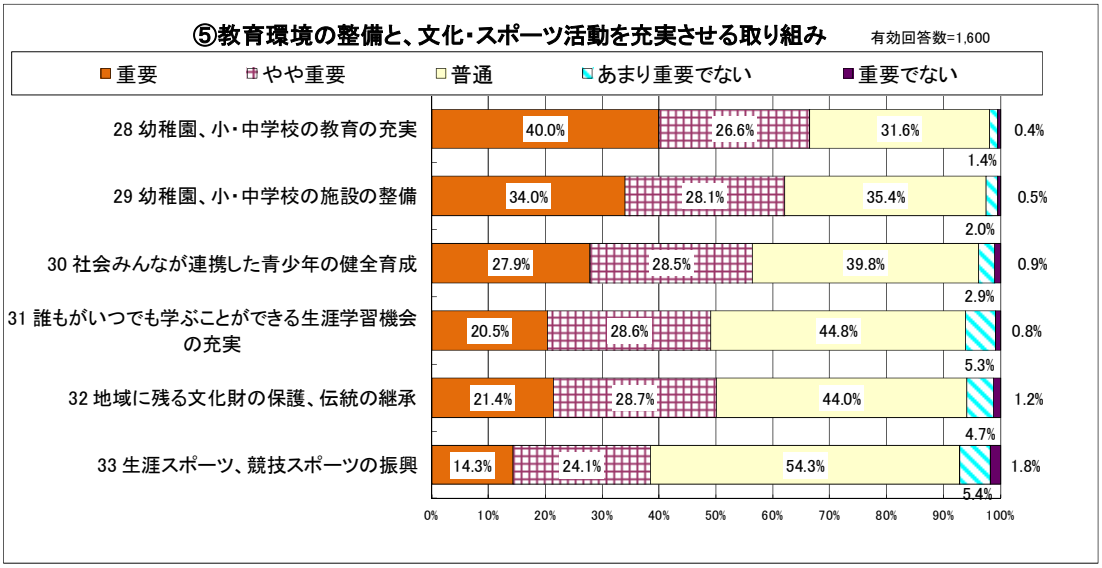
分野別（4）健康づくりや福祉を充実させる取り組み

「21 市民が安心して受診できる医療体制」（やや重要以上：73.3%）、「23 こどもがすこやかに育てられる保育環境の充実」（やや重要以上：67.8%）、「26 介護予防、介護サービスなどの介護保険の充実」（やや重要以上：66.5%）、「27 国民健康保険の円滑な運営」（やや重要以上：65.2%）の重要度が高い傾向にあります。また、当該分野全体のいずれの項目も重要度が高い傾向にあります。



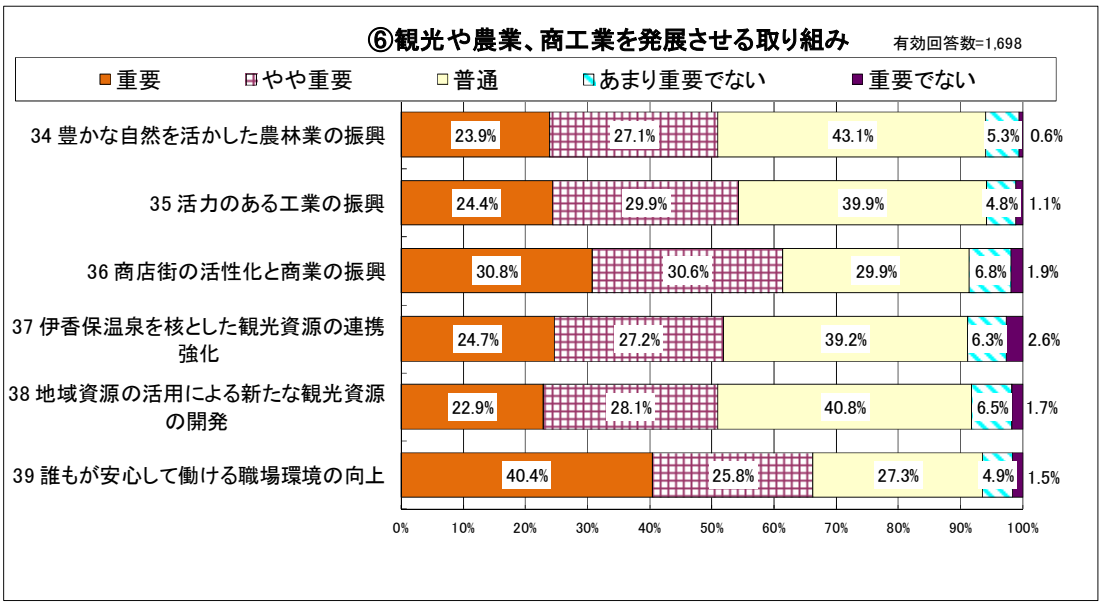
分野別（5）教育環境の整備と、文化・スポーツ活動を充実させる取り組み

「28 幼稚園、小・中学校の教育の充実」（やや重要以上：66.6%）と「29 幼稚園、小・中学校の施設の整備」（やや重要以上：62.1%）、「30 社会みんなが連携した青少年の健全育成」（やや重要以上：56.4%）の重要度が高く、当該分野全体のいずれの項目も重要度が高い傾向にあります。



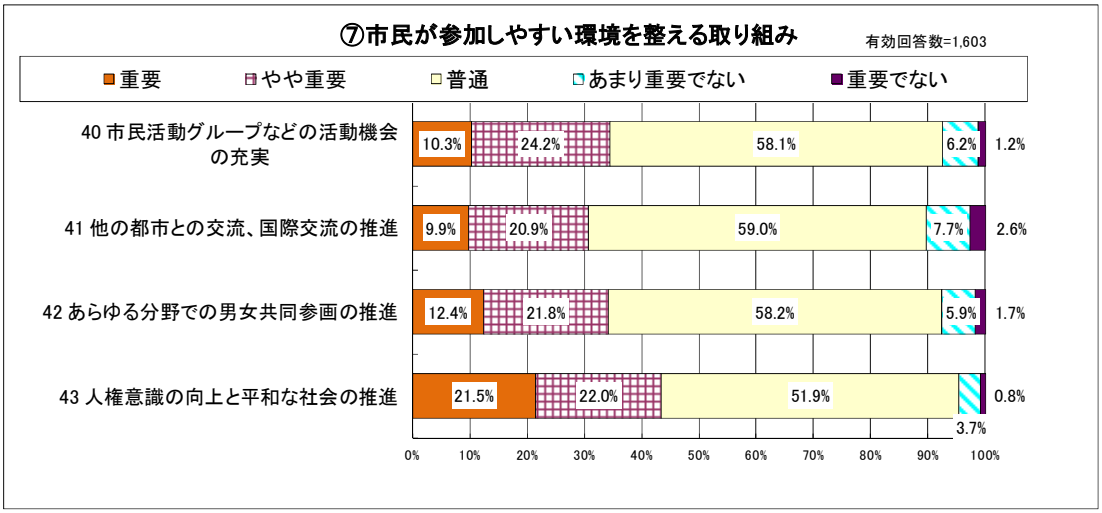
分野別（6）観光や農業、商工業を発展させる取り組み

「39 誰もが安心して働ける職場環境の向上」（やや重要以上:51.0%）と「36 商店街の活性化と商業の振興」（やや重要以上:61.4%）で重要度が高く、当該分野全体のいずれの項目も重要度が高い傾向にあります。



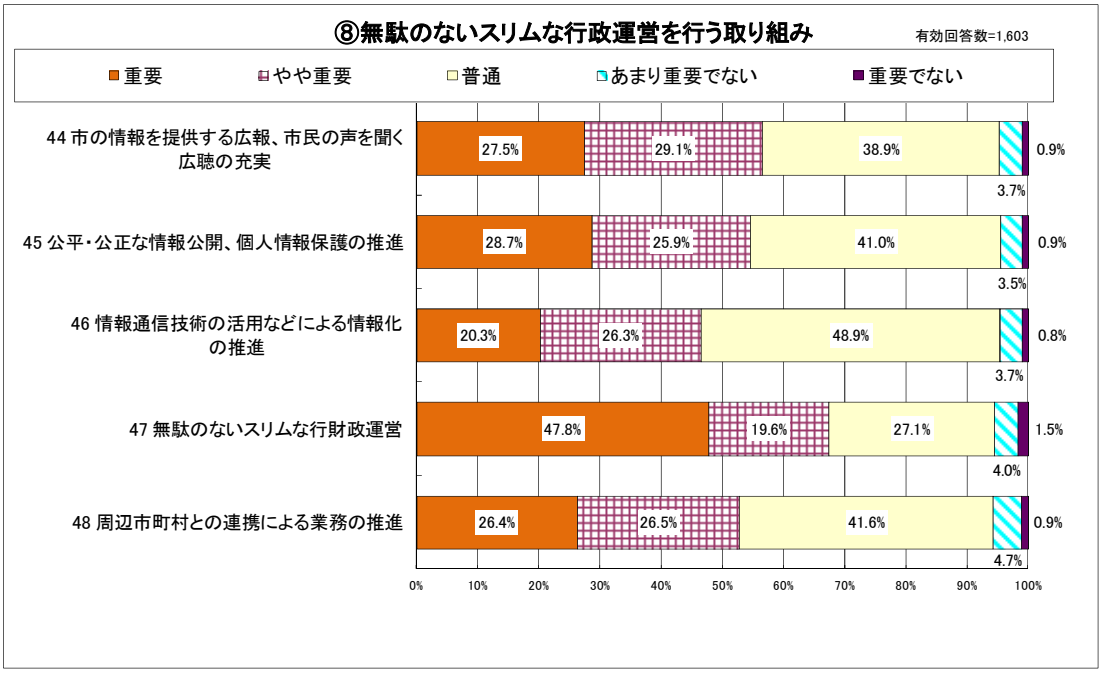
分野別（7）市民が参加しやすい環境を整える取り組み

「43 人権意識の向上と平和な社会の推進」（やや重要以上：43.5%）が比較的重要度の高い項目となっています。また、当該分野は他の分野に比して、普通であるとの回答がいずれも 50%超であり比較的多くの割合を占めています。



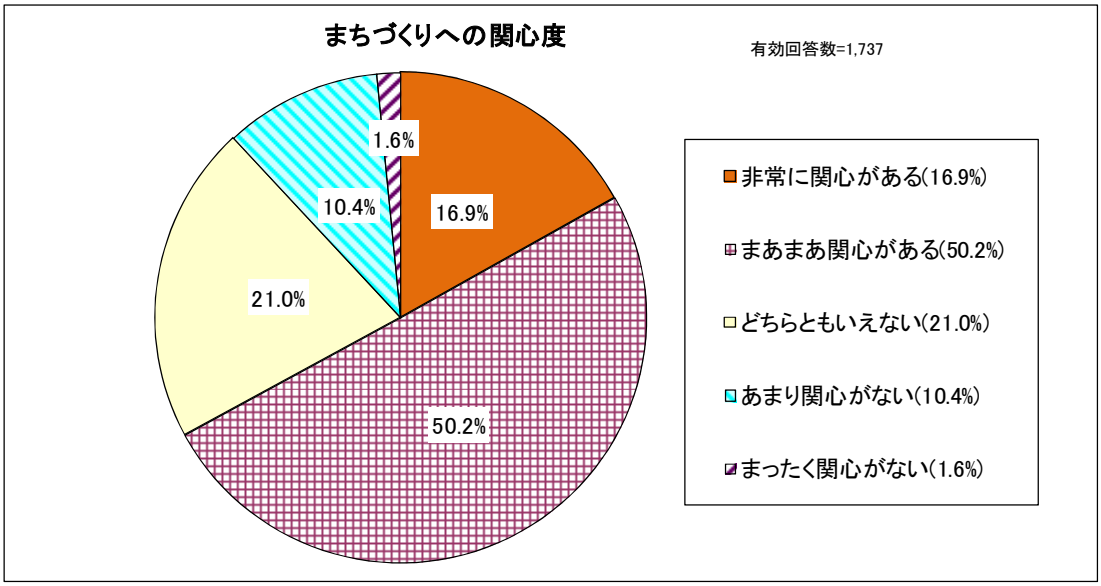
分野別（8）無駄のないスリムな行政運営を行う取り組み

「47 無駄のないスリムな行財政運営」（やや重要以上：67.4%）、「45 公平・公正な情報公開、個人情報保護の推進」（やや重要以上：54.6%）、「44 市の情報を提供する広報、市民の声を聞く広聴の充実」（やや重要以上：56.6%）が比較的重要度の高い項目となっています。また、当該分野全体のいずれの項目も重要度が高い傾向にあります。

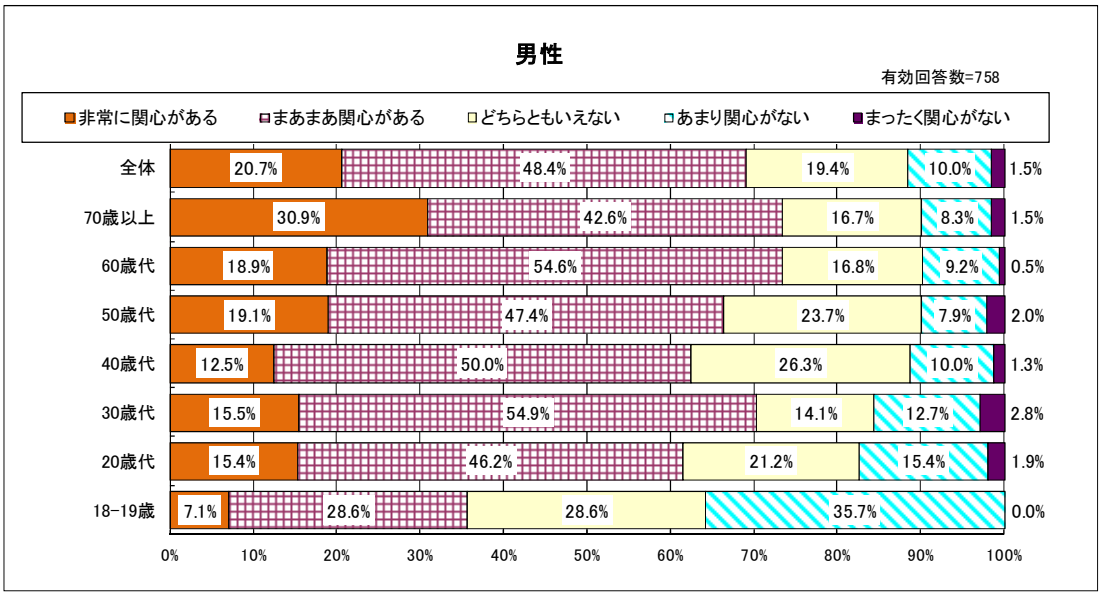


【問９】あなたはまちづくり（市の取り組みなど）についてどの程度関心をお持ちですか。（１つを選んで番号に○をつけてください。）

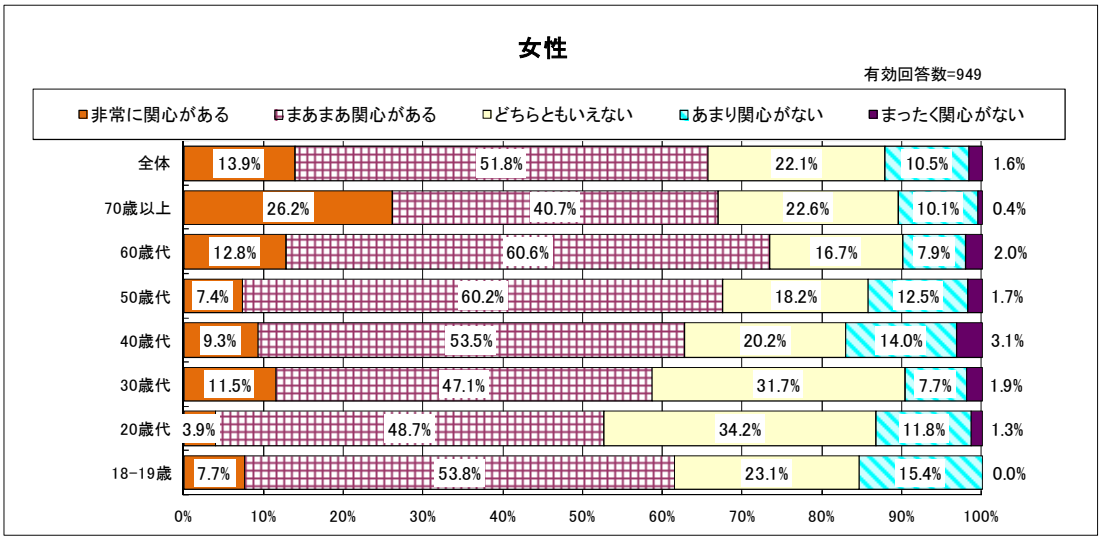
関心がある（=非常に関心がある＋まあまあ関心がある）と回答した割合が 67.1%であり、市民のまちづくりへの関心度は高いことが分かります。
また、関心がない（=まったく関心がない＋あまり関心がない）と回答した割合も 11.9%であり、まちづくりへの関心度が低い市民も少ないことが分かります。



男性で関心がある（=非常に関心がある＋まあまあ関心がある）と回答した割合は 70 歳以上と 60 歳代で 73.5%と最も高く、次いで 30 歳代で 70.4%となっています。
一方、関心がない（=まったく関心がない＋あまり関心がない）と回答した割合は 18-19 歳で 35.7%と最も高くなっています。
このように男性では、18-19 歳の若年層で、関心がないという回答が顕著になっています。

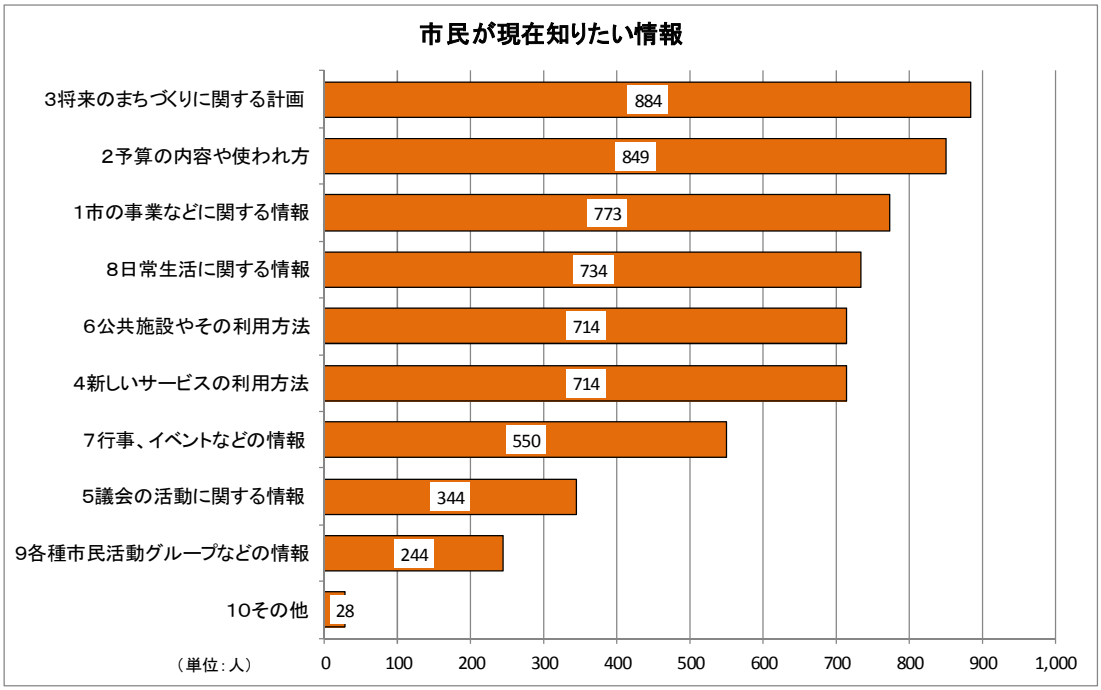


女性で関心がある（=非常に関心がある＋まあまあ関心がある）と回答した割合は 60 歳代で 73.4%で最も高く、次いで 50 歳代 67.6%、70 歳以上 66.9%の順で高くなっています。一方、関心がない（=まったく関心がない＋あまり関心がない）と回答した割合は 40 歳代で 17.1%と最も高くなっています。
このように女性では、18-19 歳の若年層でも、関心を持っていることがわかります。



【問 10】あなたが現在知りたい情報はどのような内容ですか。該当するものすべてに○をつけてください。

市民が現在知りたい情報は「3 将来のまちづくりに関する計画」の 884 人が一番高く、次いで「2 予算の内容や使われ方 849 人」「1 市の事業などに関する情報 773 人」「8 日常生活に関する情報 734 人」「4 新しいサービスの利用方法 714 人」の順番に高くなっています。



男性では「1 市の事業などに関する情報」「2 予算の内容や使われ方」「3 将来のまちづくりに関する計画」に関する情報を知りたいと思う割合が高くなっています。一方、「9 各種市民活動グループなどの情報」について希望する割合は低くなっています。

男 性

年代	1市の事業などに関する情報		2予算の内容や使われ方		3将来のまちづくりに関する計画		4新しいサービスの利用方法		5議会の活動に関する情報		6公共施設やその利用方法		7行事、イベントなどの情報		8日常生活に関する情報		9各種市民活動グループなどの情報		10その他	
70歳以上	15.8%	1位	14.3%	3位	15.4%	2位	8.0%	8位	8.6%	7位	10.4%	5位	9.5%	6位	12.7%	4位	4.9%	9位	0.3%	10位
60歳代	17.3%	3位	17.5%	2位	19.1%	1位	9.5%	4位	7.4%	7位	9.3%	5位	7.2%	8位	8.5%	6位	3.9%	9位	0.2%	10位
50歳代	15.8%	3位	17.7%	2位	18.6%	1位	10.2%	5位	7.2%	7位	10.6%	4位	6.7%	8位	9.5%	6位	3.5%	9位	0.2%	10位
40歳代	16.2%	2位	19.3%	1位	15.8%	3位	10.4%	4位	7.3%	8位	9.3%	6位	8.9%	7位	9.7%	5位	2.7%	9位	0.4%	10位
30歳代	10.6%	5位	16.3%	2位	19.2%	1位	10.6%	6位	3.7%	8位	14.3%	3位	9.8%	7位	11.4%	4位	3.3%	9位	0.8%	10位
20歳代	10.2%	5位	21.8%	1位	19.7%	2位	8.8%	7位	2.7%	8位	11.6%	4位	12.9%	3位	9.5%	6位	2.7%	9位	0.0%	10位
18-19歳	12.2%	3位	16.3%	2位	20.4%	1位	12.2%	4位	4.1%	8位	12.2%	5位	10.2%	6位	10.2%	7位	2.0%	9位	0.0%	10位

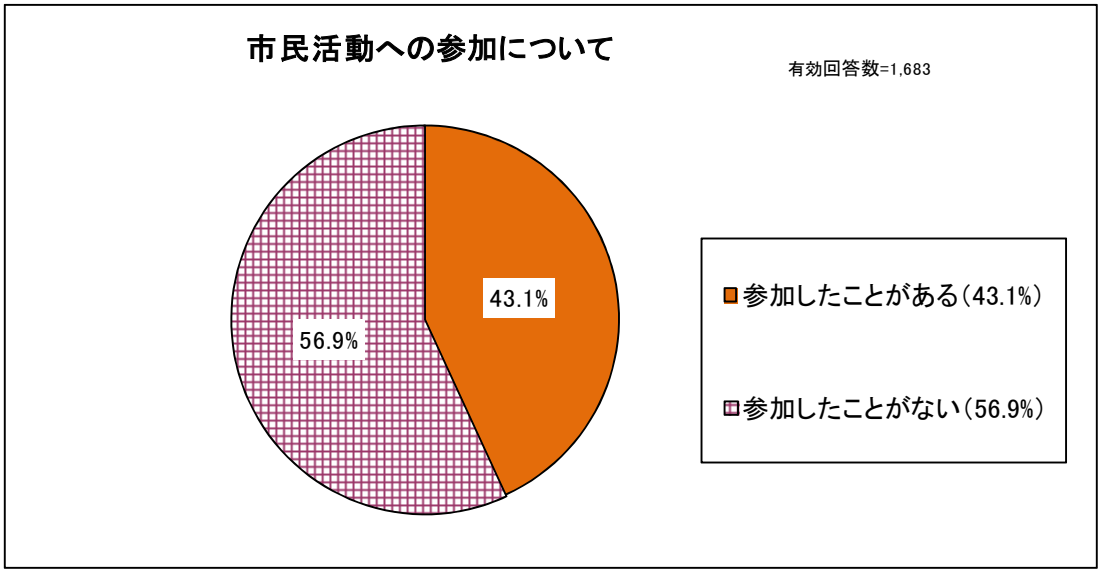
女性では「8 日常生活に関する情報」「6 公共施設やその利用方法」「4 新しいサービスの利用方法」に関する情報を知りたいと思う割合が高くなっています。一方、「9 各種市民活動グループなどの情報」について希望する割合は低くなっています。

女　性

年代	1市の事業などに関する情報		2予算の内容や使われ方		3将来のまちづくりに関する計画		4新しいサービスの利用方法		5議会の活動に関する情報		6公共施設やその利用方法		7行事、イベントなどの情報		8日常生活に関する情報		9各種市民活動グループなどの情報		10その他	
70歳以上	13.5%	3位	11.0%	6位	13.3%	5位	13.4%	4位	6.4%	8位	13.7%	2位	7.8%	7位	14.8%	1位	5.6%	9位	0.5%	10位
60歳代	13.7%	4位	13.9%	3位	11.8%	5位	14.3%	1位	6.6%	8位	11.6%	6位	8.2%	7位	14.0%	2位	5.5%	9位	0.3%	10位
50歳代	11.3%	6位	14.3%	3位	15.5%	2位	15.8%	1位	4.3%	8位	12.5%	4位	9.5%	7位	12.0%	5位	4.1%	9位	0.7%	10位
40歳代	10.6%	7位	13.7%	4位	11.6%	6位	14.4%	2位	4.0%	8位	13.9%	3位	12.1%	5位	15.1%	1位	3.3%	9位	1.2%	10位
30歳代	9.6%	7位	11.3%	6位	11.3%	5位	15.9%	3位	3.0%	9位	16.5%	1位	12.1%	4位	16.2%	2位	3.6%	8位	0.5%	10位
20歳代	5.3%	7位	12.2%	6位	14.5%	3位	14.1%	4位	1.9%	9位	15.6%	2位	17.6%	1位	13.7%	5位	3.4%	8位	1.5%	10位
18-19歳	4.3%	7位	12.8%	5位	14.9%	4位	12.8%	6位	4.3%	8位	17.0%	1位	17.0%	2位	17.0%	3位	0.0%	9位	0.0%	10位

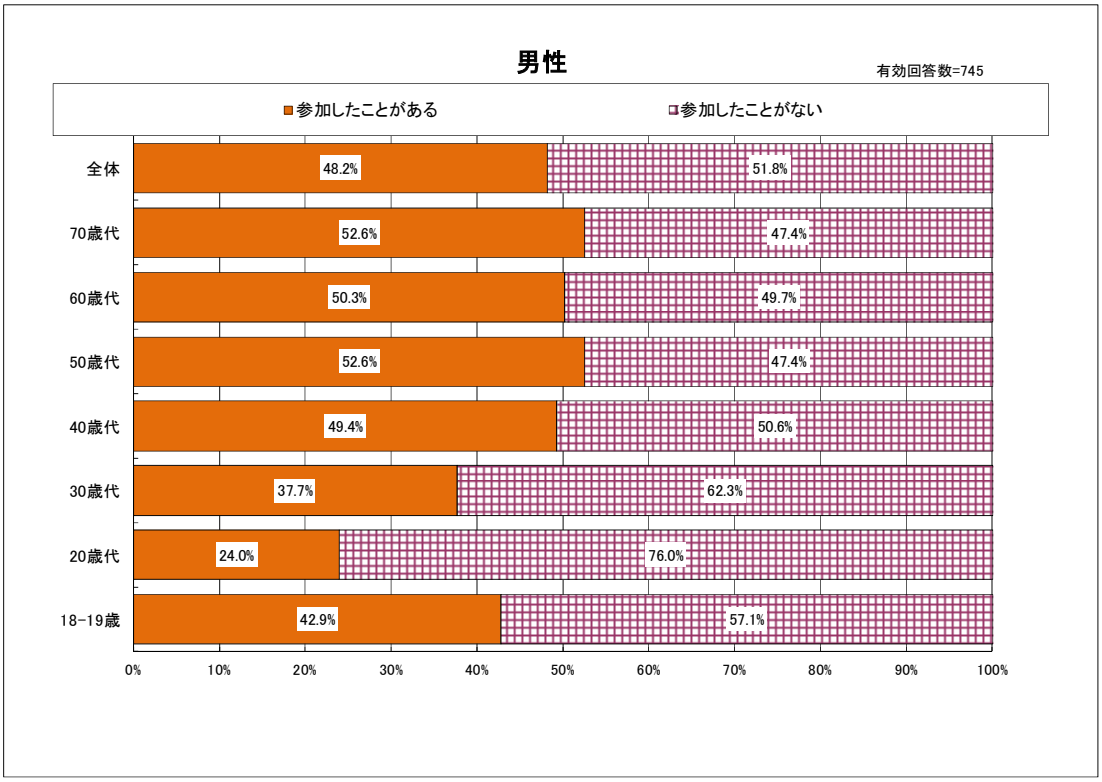
【問 11】まちづくりの様々な場面で、市民活動への参加が重要となりますが、あなたは市の活動に参加した経験がありますか。（１つを選んで番号に○をつけてください。）

参加したことがないと回答した割合が 56.9%と半数以上を占めています。



男性で参加したことがあると回答したのは 70 歳代以上及び 50 歳代で 52.6%と最も高くなっており、次いで 60 歳代で 50.3%となっております。

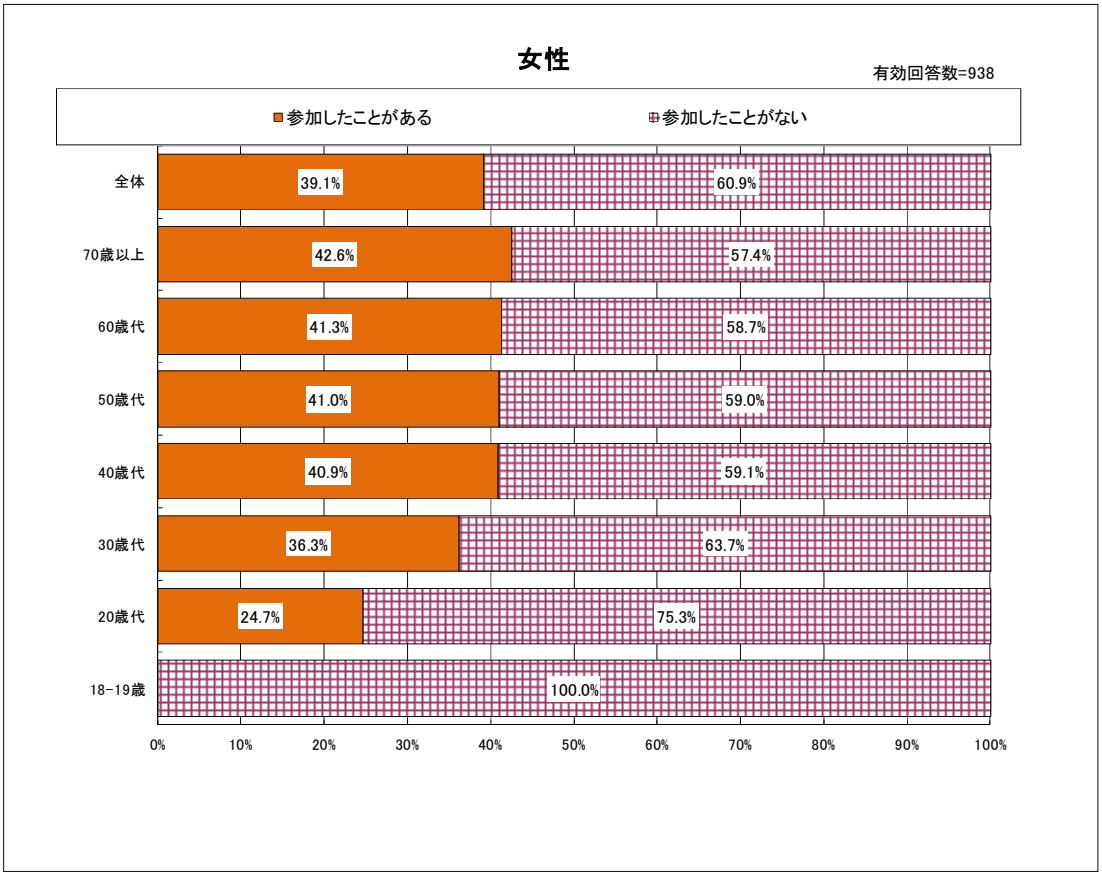
一方、参加したことがないと回答したのは 20 歳代で 76.0%と最も高くなりました。男性では 50 歳代以上になると参加経験が半数以上になっています。



女性で参加したことがあると回答したのは 70 歳代で 42.6%と最も高くなっており、次いで 60 歳代 41.3%、50 歳代 41.0%の順に高くなっています。

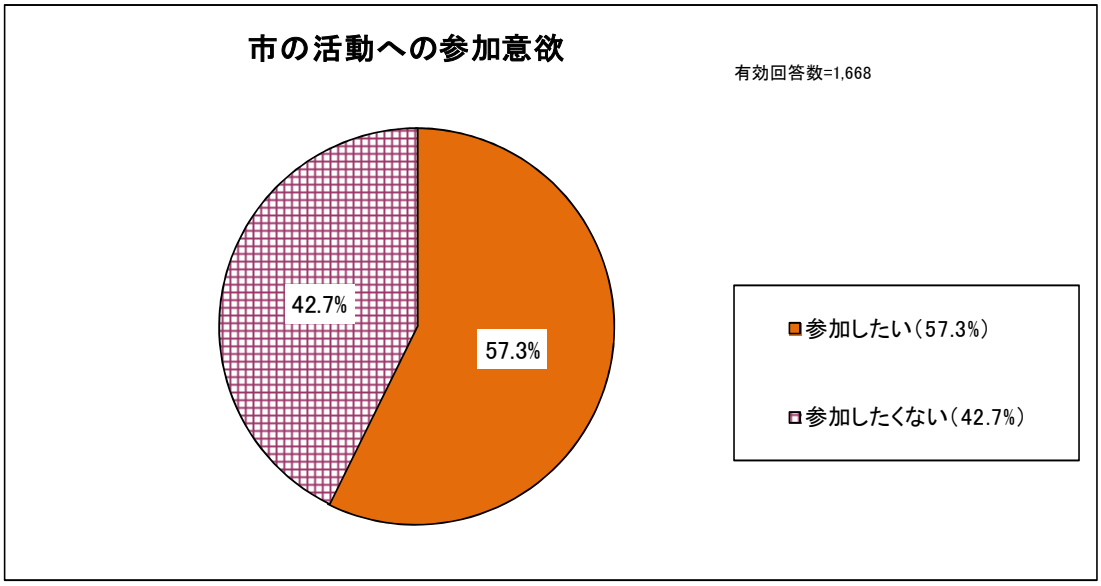
一方、参加したことがないと回答したのは 18-19 歳で 100.0%と最も高くなりました。

女性ではどの年代においても、参加したことがないという回答が参加したことがあるという回答を上回っています。



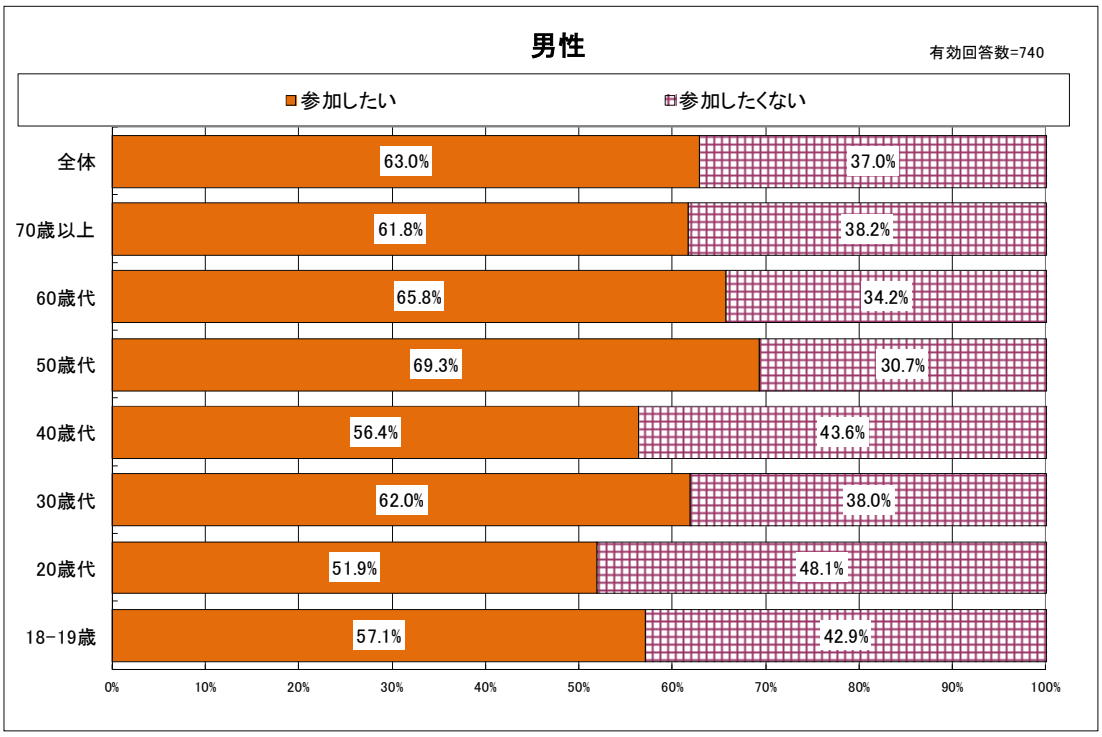
【問 12】まちづくりの様々な場面で、市民活動への参加が重要となりますが、あなたは市の活動に参加したいと思いますか。（１つを選んで番号に○をつけてください。）

市の活動へ「参加したい」と回答した割合が 57.3%であり、参加意欲のある市民が過半数を占めています。



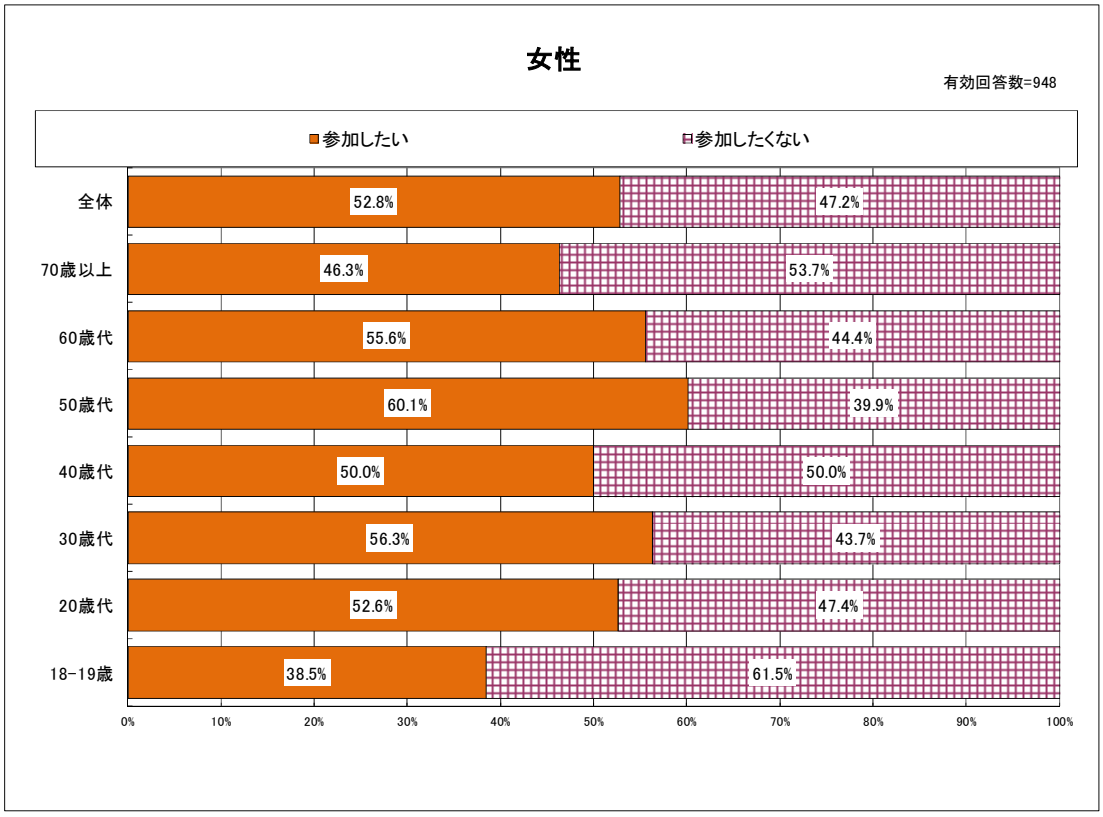
男性では参加したいと回答したのは 50 歳代で 69.3%と最も高くなっており、次いで 60 歳代 65.8%、30 歳代 62.0%の順で高くなっています。

一方、参加したくないと回答したのは 20 歳代で 48.1%と最も高くなりました。男性ではどの世代でも参加したいという回答が参加したくないという回答を上回っています。



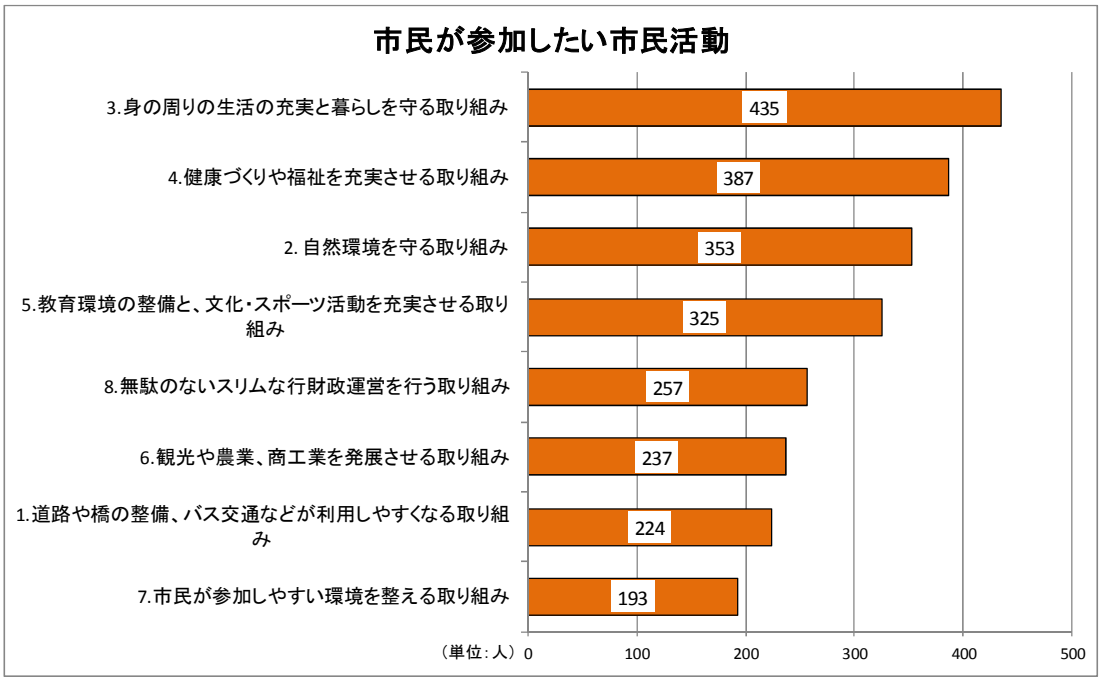
女性では参加したいと回答したのは 50 歳代で 60.1%と最も高くなっており、次いで 30 歳代 56.3%、60 歳代 55.6%の順で高くなっています。

一方、参加したくないと回答したのは 18-19 歳で 61.5%と最も高くなりました。女性では 18-19 歳の若年層及び 70 歳代以上の高齢者層で参加したくないという回答が目立ちます。



【問 13】（上記）問１２で１（参加したい）に回答した方に伺います。参加したい市民活動は何ですか。該当するものすべてに○をつけてください。

市民が参加したいと回答した市民活動は「3 身の回りの生活の充実と暮らしを守る取り組み」が 435 人と最も多くなっています。次いで「4 健康づくりや福祉を充実させる取り組み 387 人」「2 自然環境を守る取り組み 353 人」「5.教育環境の整備と、文化・スポーツ活動を充実させる取り組み 325 人」「8 無駄のないスリムな行財政運営を行う取り組み 257 人」の順に高くなっています。



男性では「2 自然環境を守る取り組み」「3 身の回りの生活の充実と暮らしを守る取り組み」に関する市民活動に参加したいと思う割合が高くなっています。一方、「7 市民が参加しやすい環境を整える取り組み」に関する市民活動に参加したいと思う割合は低くなっています。

男　性

年代	1.道路や橋の整備、バス交通などが利用しやすくなる取り組み		2. 自然環境を守る取り組み		3.身の周りの生活の充実と暮らしを守る取り組み		4.健康づくりや福祉を充実させる取り組み		5.教育環境の整備と、文化・スポーツ活動を充実させる取り組み		6.観光や農業、商工業を発展させる取り組み		7.市民が参加しやすい環境を整える取り組み		8.無駄のないスリムな行財政運営を行う取り組み	
70歳以上	11.0%	5位	14.3%	3位	17.9%	1位	14.9%	2位	9.1%	8位	10.1%	6位	9.4%	7位	13.3%	4位
60歳代	11.4%	6位	18.7%	1位	17.4%	2位	11.7%	4位	11.7%	4位	10.0%	7位	5.7%	8位	13.4%	3位
50歳代	10.2%	7位	17.4%	1位	13.6%	3位	12.1%	6位	13.6%	3位	12.8%	5位	5.3%	8位	15.1%	2位
40歳代	10.5%	5位	12.4%	4位	15.2%	2位	10.5%	5位	19.0%	1位	8.6%	7位	8.6%	7位	15.2%	2位
30歳代	16.7%	2位	15.6%	4位	16.7%	2位	8.3%	6位	19.8%	1位	11.5%	5位	4.2%	8位	7.3%	7位
20歳代	7.9%	6位	14.3%	3位	20.6%	1位	4.8%	7位	20.6%	1位	14.3%	3位	4.8%	7位	12.7%	5位
18-19歳	8.0%	6位	16.0%	2位	16.0%	2位	8.0%	6位	20.0%	1位	12.0%	4位	8.0%	6位	12.0%	4位

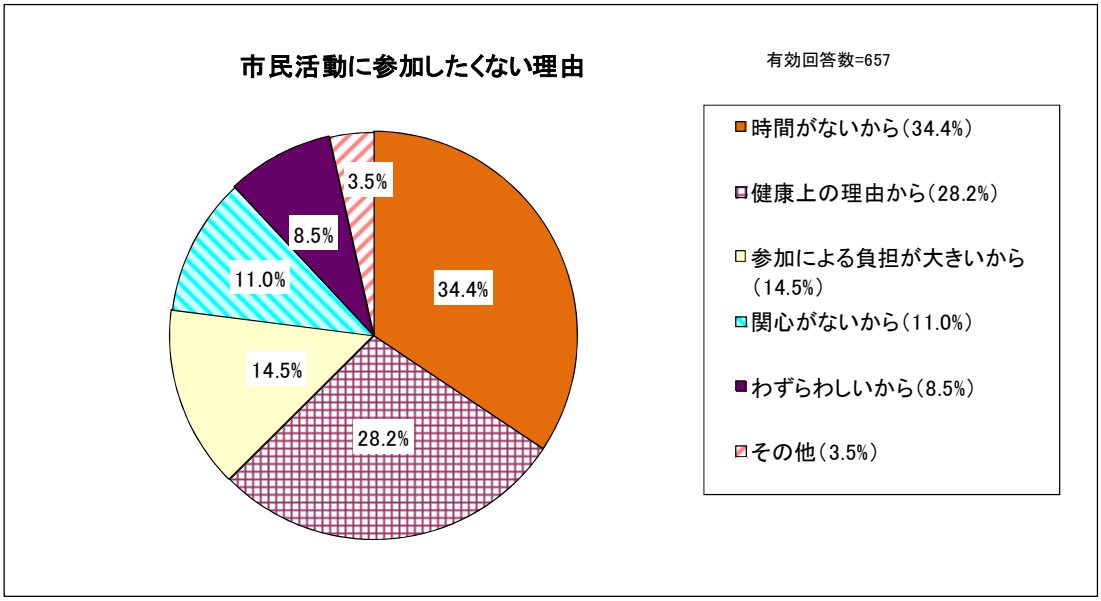
女性では「3 身の回りの生活の充実と暮らしを守る取り組み」「4 健康づくりや福祉を充実させる取り組み」に関する市民活動に参加したいと思う割合が高くなっています。一方、「7 市民が参加しやすい環境を整える取り組み」に関する市民活動に参加したいと思う割合は低くなっています。

女　性

年代	1.道路や橋の整備、バス交通などが利用しやすくなる取り組み		2. 自然環境を守る取り組み		3.身の周りの生活の充実と暮らしを守る取り組み		4.健康づくりや福祉を充実させる取り組み		5.教育環境の整備と、文化・スポーツ活動を充実させる取り組み		6.観光や農業、商工業を発展させる取り組み		7.市民が参加しやすい環境を整える取り組み		8.無駄のないスリムな行財政運営を行う取り組み	
70歳以上	11.8%	3位	8.3%	7位	19.1%	2位	22.9%	1位	10.8%	5位	6.3%	8位	9.7%	6位	11.1%	4位
60歳代	7.3%	7位	13.0%	3位	18.0%	2位	25.7%	1位	8.4%	5位	6.9%	8位	12.6%	4位	8.0%	6位
50歳代	3.8%	8位	15.7%	3位	19.9%	2位	20.3%	1位	9.7%	5位	9.7%	5位	11.4%	4位	9.3%	7位
40歳代	7.7%	6位	15.4%	3位	21.9%	1位	14.2%	4位	18.9%	2位	10.1%	5位	5.3%	8位	6.5%	7位
30歳代	5.0%	6位	15.0%	4位	19.3%	2位	16.4%	3位	25.7%	1位	8.6%	5位	5.0%	6位	5.0%	6位
20歳代	5.6%	7位	14.8%	4位	19.4%	1位	13.0%	5位	18.5%	2位	16.7%	3位	7.4%	6位	4.6%	8位
18-19歳	10.0%	3位	10.0%	3位	10.0%	3位	20.0%	2位	40.0%	1位	10.0%	3位	0.0%	7位	0.0%	7位

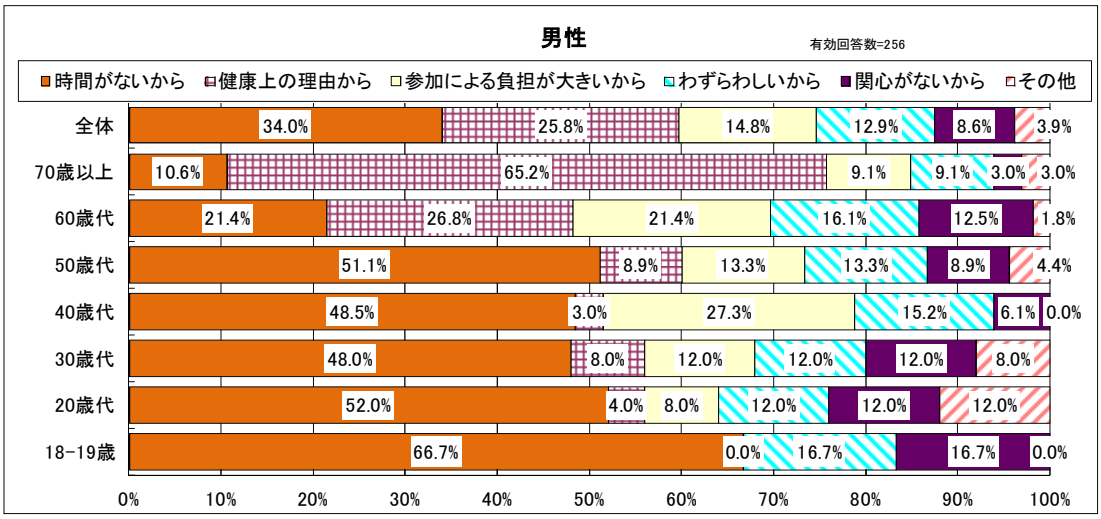
【問 14】（上記）問１２で２（参加したくない）に回答した方に伺います。市民活動に参加したくない理由は何ですか。（１つを選んで番号に○をつけてください。）

市民活動へ参加したくない理由としては、「時間がないから」と回答した割合が 34.4%と最も多く、次いで「健康上の理由から」28.2%、「参加による負担が大きいから」14.5%の順に多くなっています。



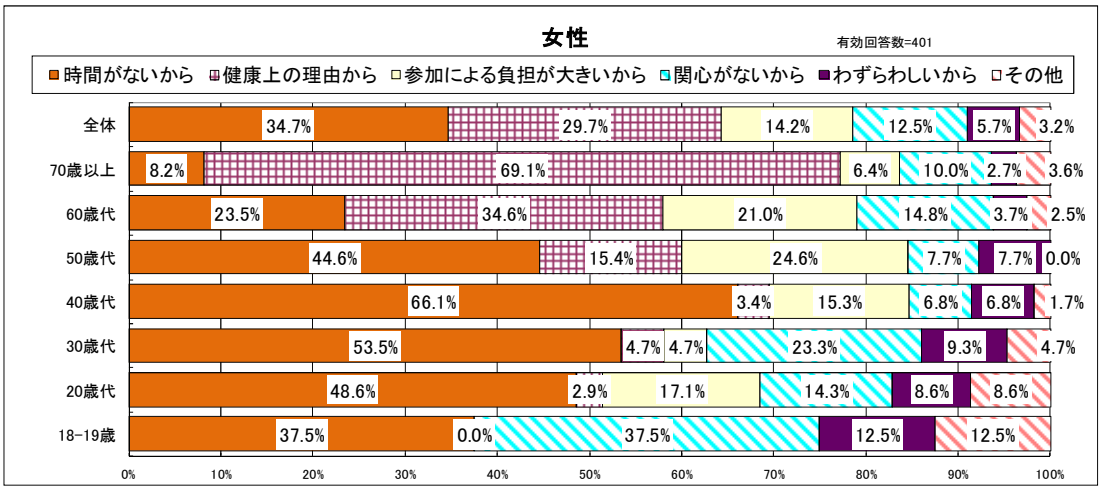
男性のうち、「時間がないから」と回答した割合は 18-19 歳で 66.7%と最も高く、年齢層があがるにつれて「時間がないから」を理由にあげる割合は減少していきます。

一方、「健康上の理由から」と回答した割合は 70 歳以上で 65.2%と最も高く、年齢層が若くなるにつれて「健康上の理由から」を理由にあげる割合は減少していきます。



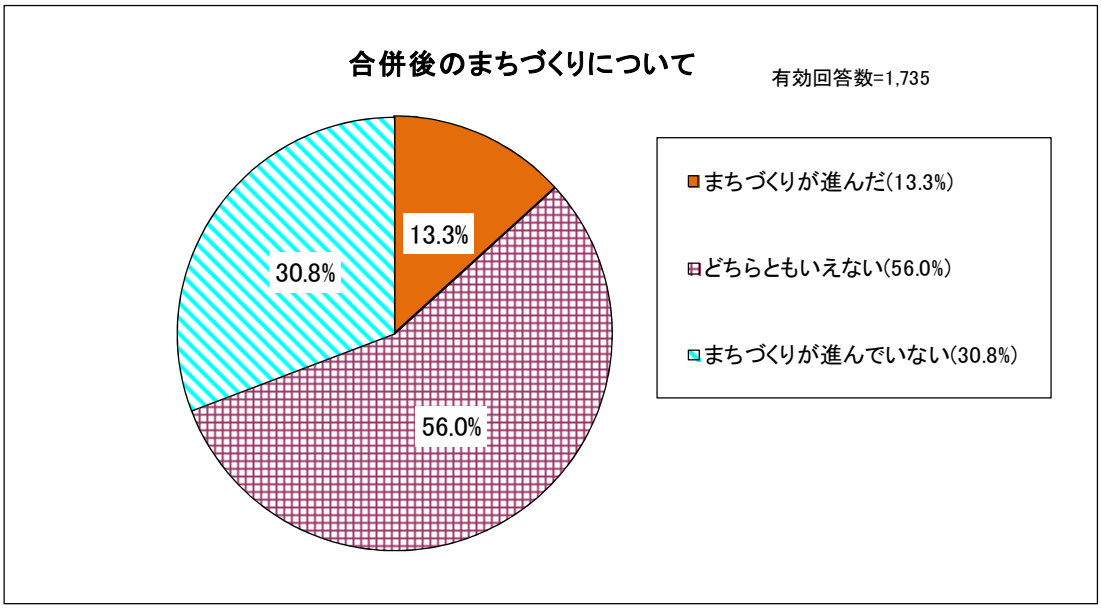
女性のうち、「時間がないから」と回答した割合は 40 歳代で 66.1%と最も高く、また、「関心がないから」と回答した割合は男性よりも多くなっています。

一方、「健康上の理由から」と回答した割合は 70 歳以上で 69.1%と最も高く、年齢層が若くなるにつれて「健康上の理由から」を理由にあげる割合は減少していきます。

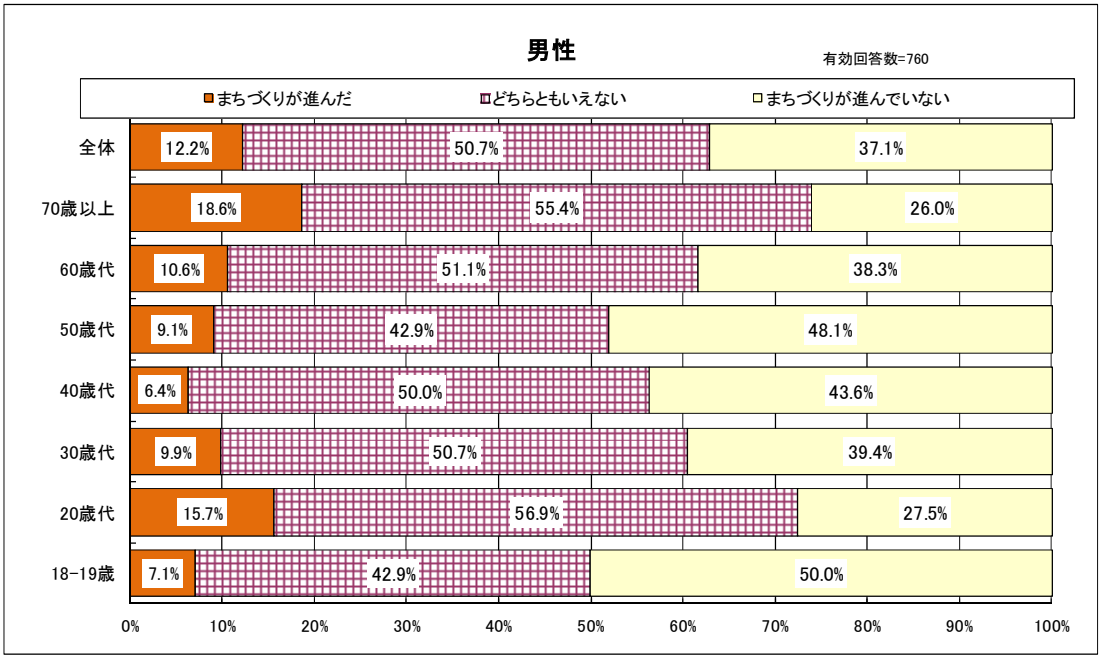


【問 15】あなたは合併後のまちづくりについて、どのように感じられますか。まちが整備され、生活が便利になったと感じるかで判断してください。
（１つを選んで番号に○をつけてください。）

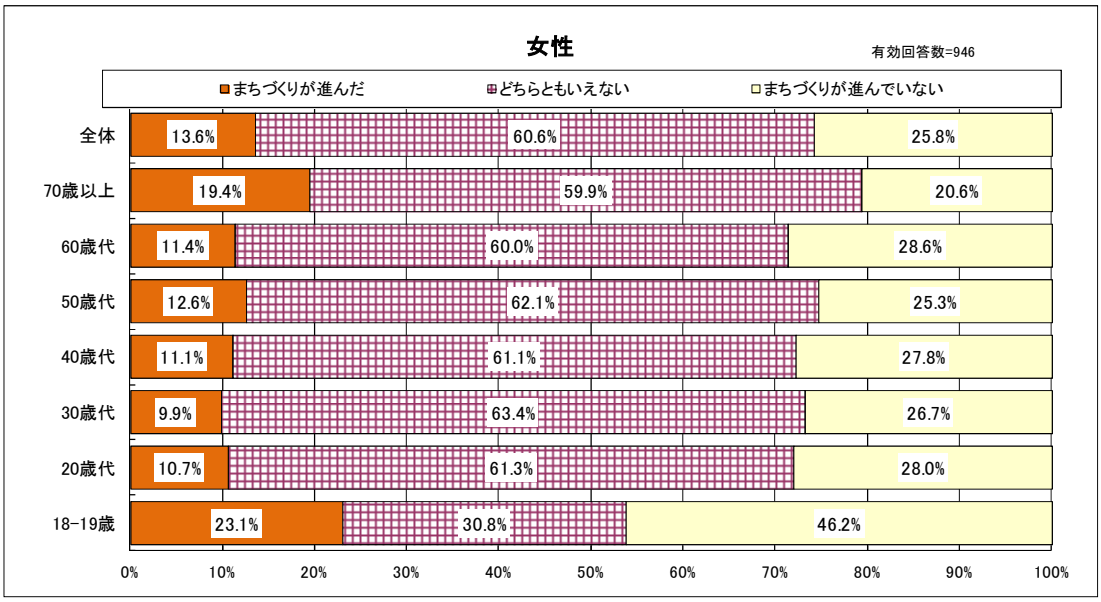
どちらともいえないと回答した割合が過半数を超えており、合併について実感を持てない市民が多いことが分かりました。一方、まちづくりが進んだと回答した市民が13.3%であるのに対し、まちづくりが進んでいないと回答した市民は 30.8%であり、合併後のまちづくりについて否定的に捉える市民が多い結果となっています。



男性ではまちづくりが進んだと回答したのは 70 歳以上で 18.6%と最も高くなっており、まちづくりが進んでいないと回答したのは 50 歳代で 48.1%と最も高くなりました。



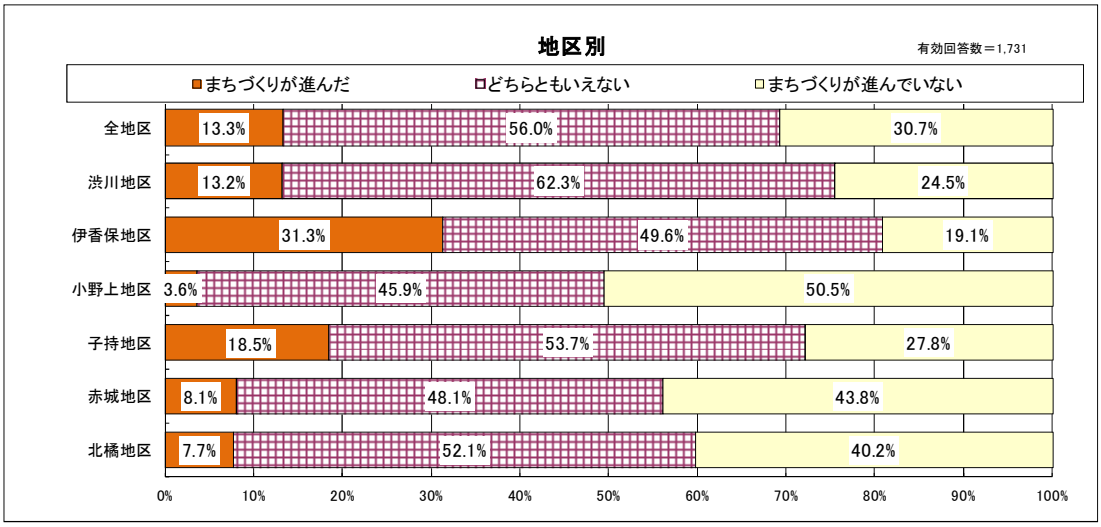
女性ではまちづくりが進んだと回答したのは 18-19 歳で 23.1%と最も高くなっており、まちづくりが進んでいないと回答したのは 18-19 歳代で 46.2%と最も高くなりました。



地区別ではまちづくりが進んだと回答したのは伊香保地区で 31.3%と最も高くなっており、次いで子持地区 18.5%、渋川地区 13.2%の順で高くなっています。

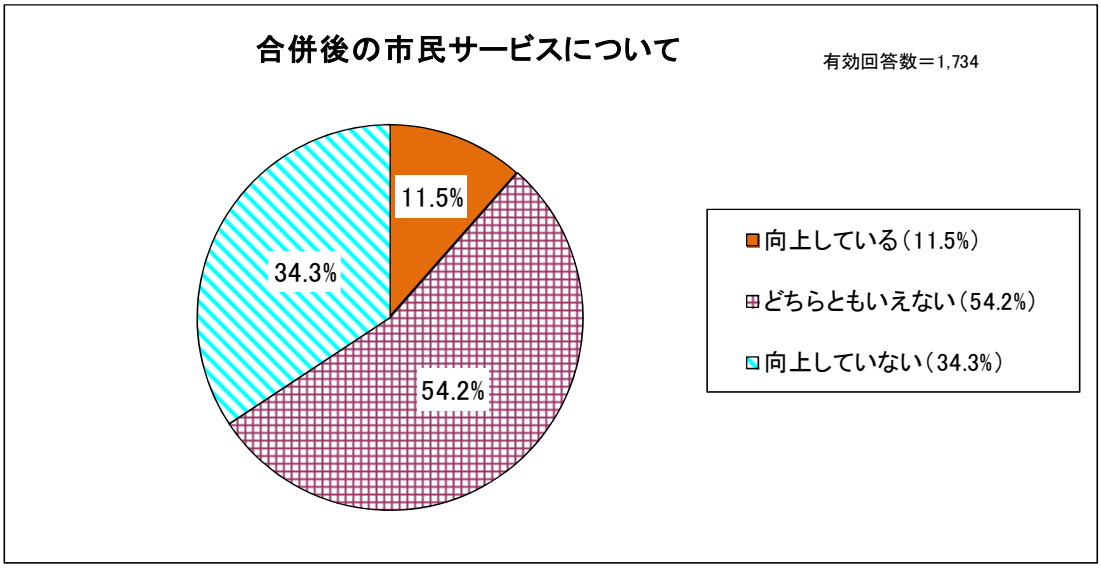
一方、まちづくりが進んでいないと回答したのは小野上地区で 50.5%と最も高くなりました。

このように、伊香保地区では合併について肯定的に捉えている割合が高いですが、小野上地区では否定的に捉えている傾向が顕著となっています。

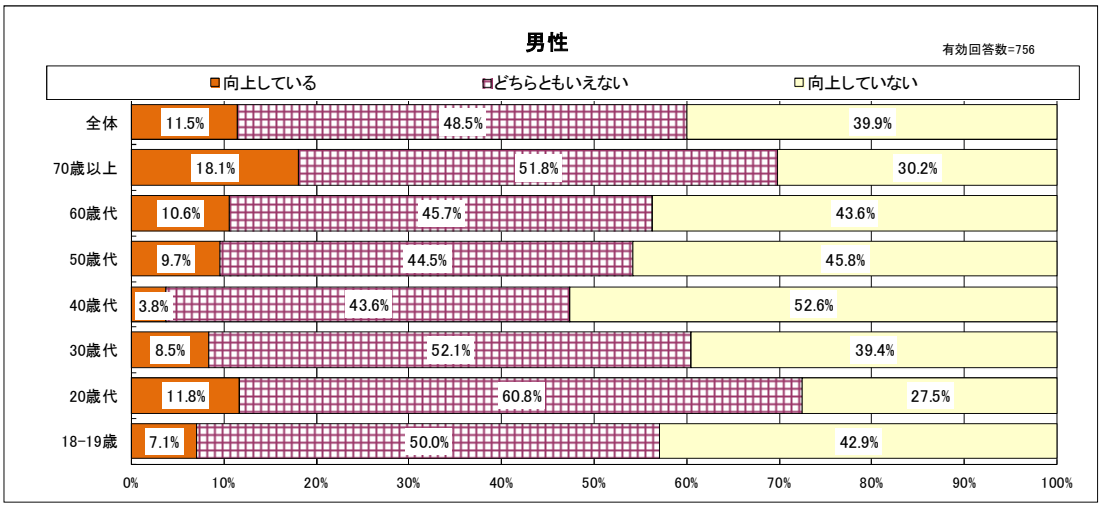


【問 16】あなたは合併後の様々な分野での市民サービスについてどのように感じていますか。（１つを選んで番号に○をつけてください。）

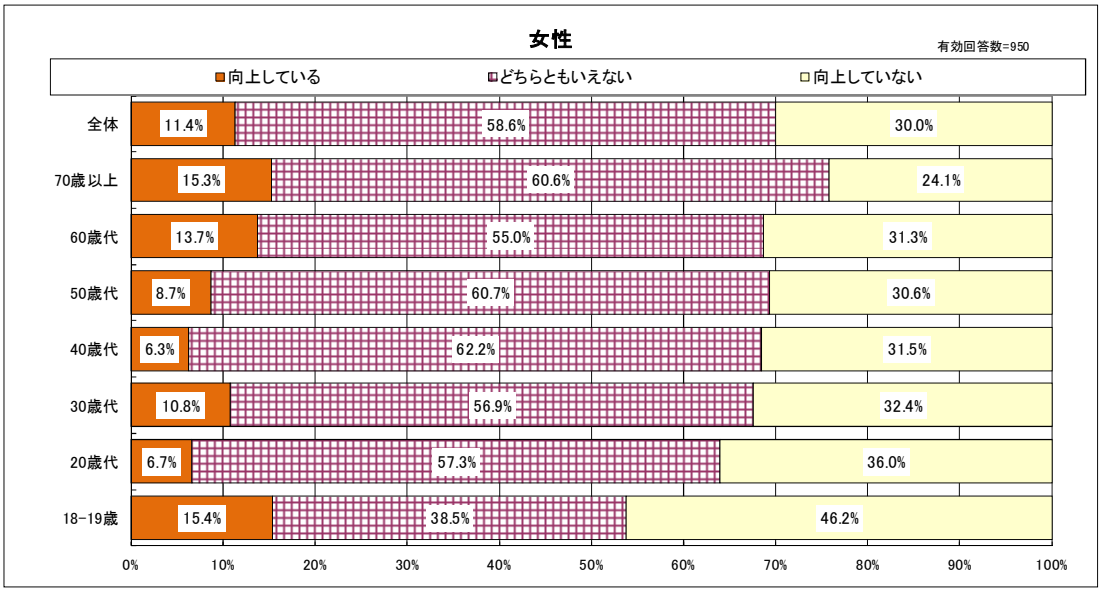
市民サービスが「向上している」と回答した市民が 11.5%であるのに対し、「向上していない」と回答した市民は 34.3%であり、合併後の市民サービスについて否定的に捉える市民の方が多い結果となっています。



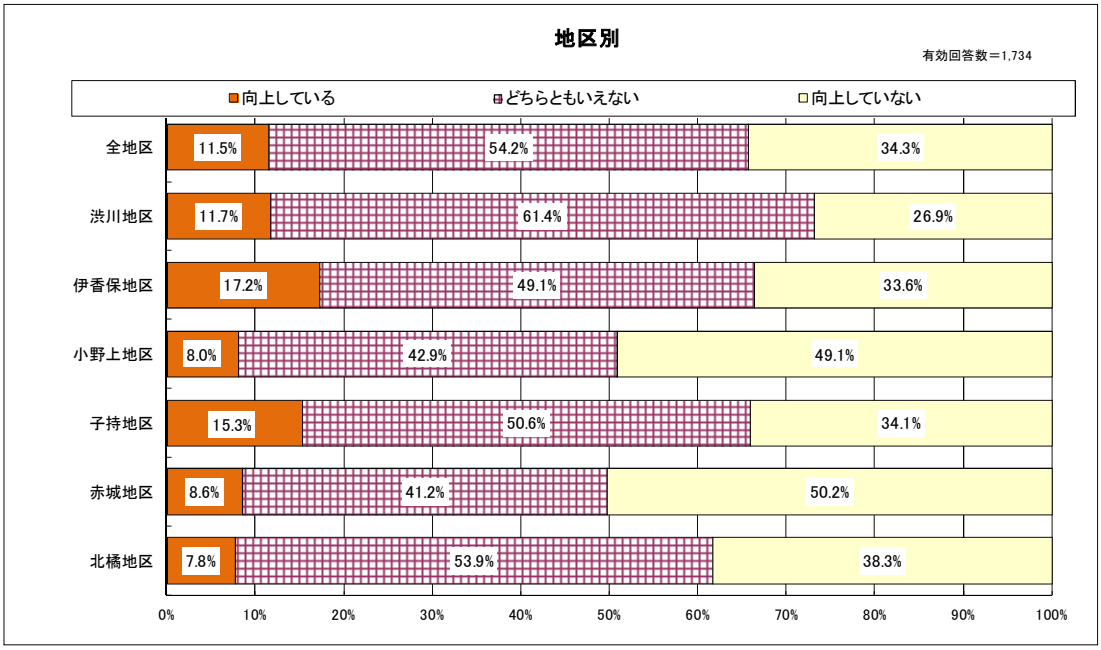
男性では向上していると回答したのは 70 歳以上で 18.1%と最も高くなっています。一方、向上していないと回答したのは 40 歳代で 52.6%と最も高くなりました。



女性では向上していると回答したのは 18-19 歳で 15.4%と最も高くなっています。
一方、向上していないと回答したのは 18-19 歳で 46.2%と最も高くなりました。

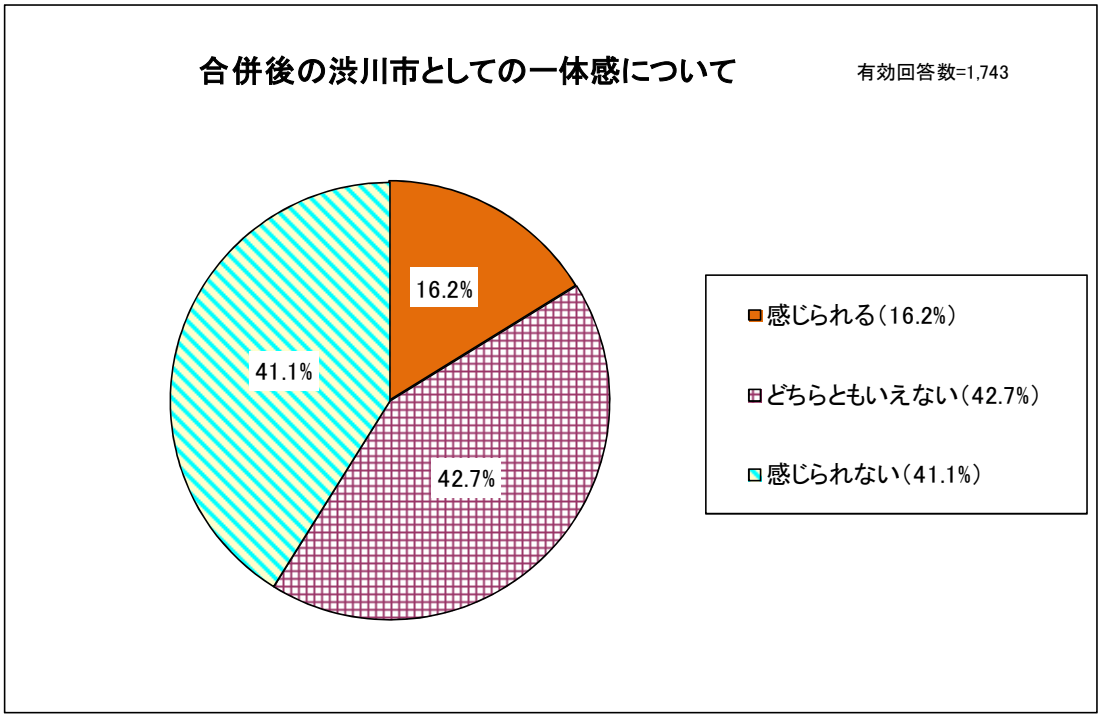


地区別では向上していると回答したのは伊香保地区で 17.2%と最も高くなっており、次いで子持地区 15.3%、渋川地区 11.7%の順で高くなっています。
一方、向上していないと回答したのは赤城地区で 50.2%と最も高くなりました。
このように、伊香保地区では合併について肯定的に捉えている割合が他地区よりも高いですが、赤城地区では否定的に捉えている傾向が他地区よりも顕著となっています。
また、どの地区でも向上していないという回答が向上しているという回答を大幅に上回っており、地区全体では合併後のサービス水準について否定的に感じていることがうかがえます。

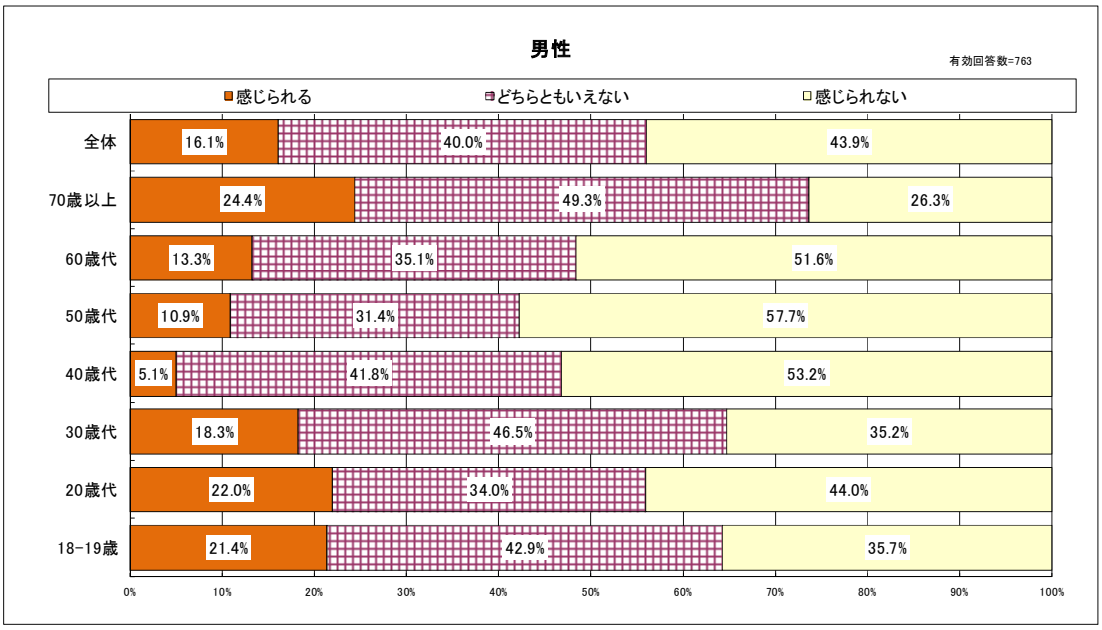


【問 17】あなたは旧市町村が新しい「渋川市」としてひとつになったと感じられるようになりましたか。（１つを選んで番号に○をつけてください。）

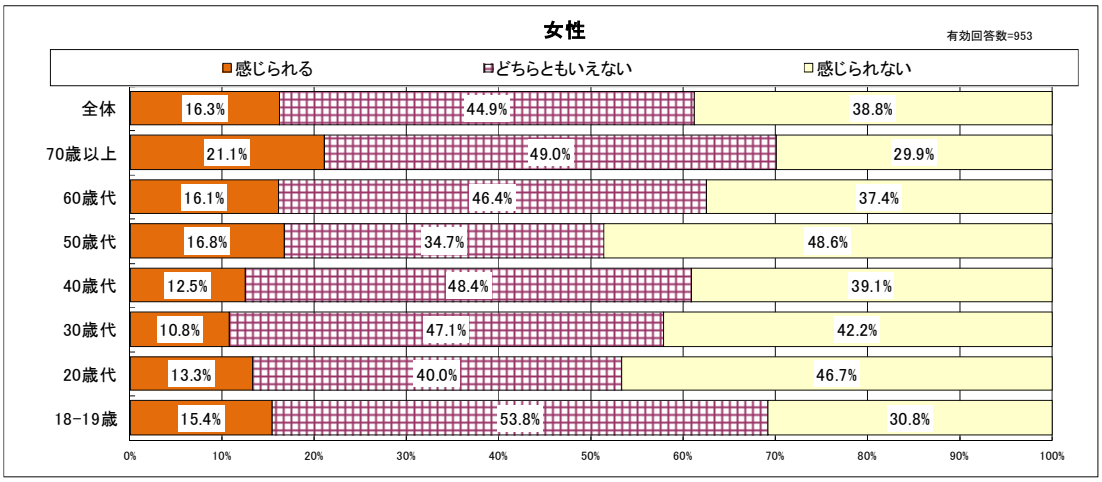
合併後の渋川市としての一体感について、「感じられない」と回答した割合あが 41.1%と最も多く、合併後の渋川市としての一体感について否定的に捉える市民が多いことがうかがえます。



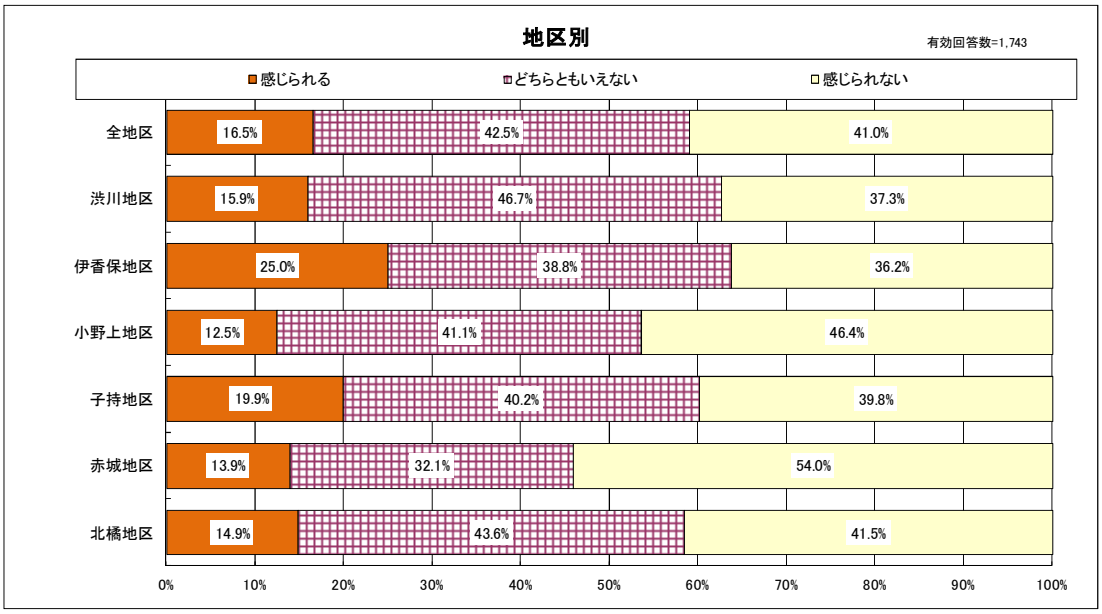
男性では感じられると回答したのは 70 歳以上で 24.4%と最も高くなっています。
一方、感じられないと回答したのは 50 歳代で 57.7%と最も高くなりました。
男性では合併後の一体性について否定的に感じていることがうかがえます。



女性では感じられると回答したのは 70 歳以上で 21.1%と最も高くなっています。
一方、感じられないと回答したのは 50 歳代で 48.6%と最も高くなりました。
女性では合併後の一体性について否定的に感じていることがうかがえます。

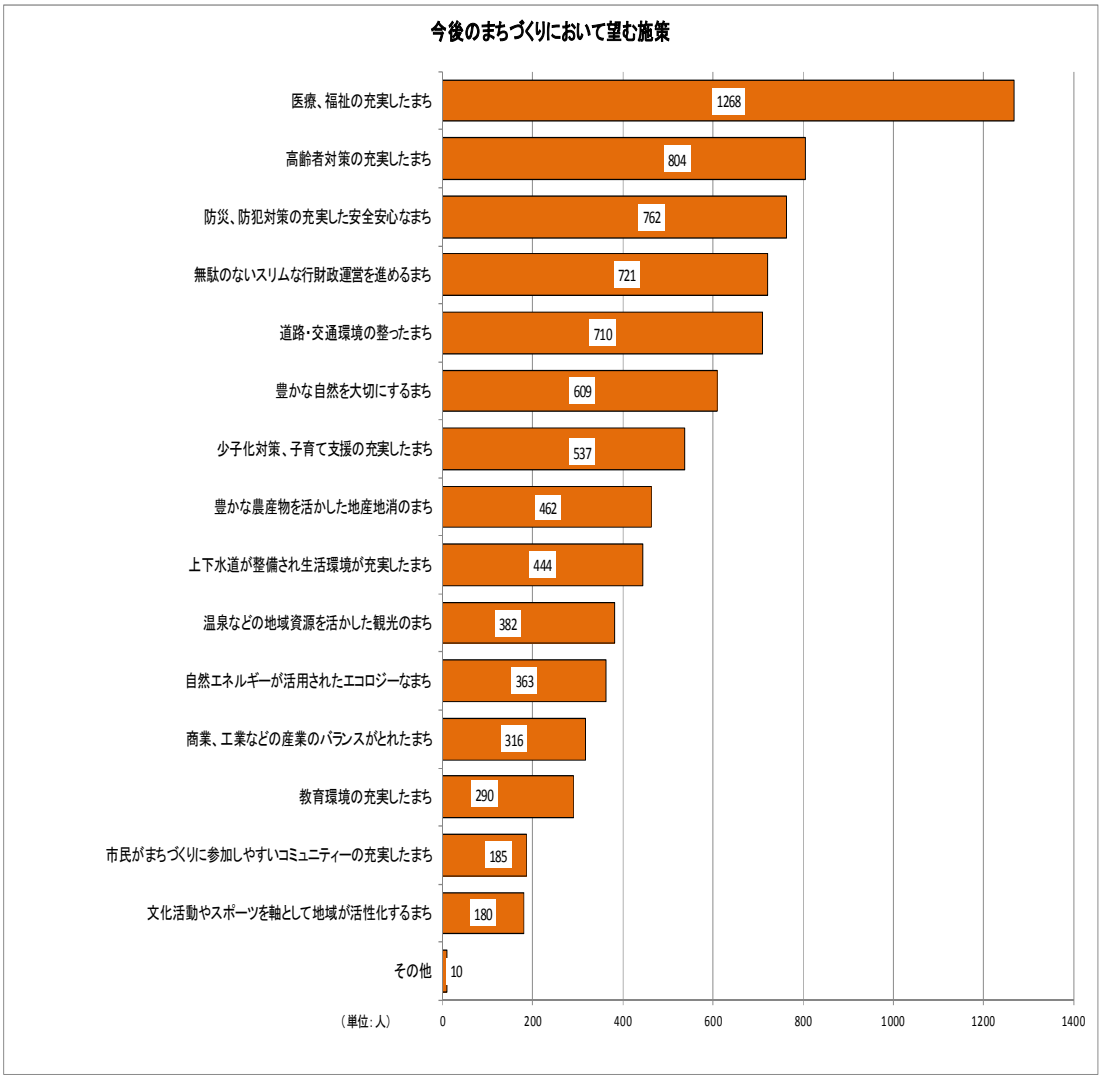


地区別では感じられると回答したのは伊香保地区で 25.0%と最も高くなっており、次いで子持地区 19.9%、渋川地区 15.9%の順で高くなっています。
一方、感じられないと回答したのは赤城地区で 54.0%と最も高くなりました。
このように、伊香保地区では合併後の一体性について肯定的に捉えている割合が他地区よりも高いですが、赤城地区では否定的に捉えている傾向が他地区よりも顕著となっています。また、どの地区でも感じられないという回答が感じられるという回答を大幅に上回っていることから、地区全体では合併後の一体性について否定的に感じていることがうかがえます。



【問 18】今後、渋川市はどのような街づくりを目指すべきと思いますか。
（５つまで選んで○をつけてください）

「医療、福祉の充実したまち」を希望する市民が 1,268 人と最も多く、次いで「高齢者対策の充実したまち 804 人」「5. 防災、防犯対策の充実した安全安心なまち 762 人」「15. 無駄のないスリムな行財政運営を進めるまち 721 人」「1. 道路・交通環境の整ったまち 710 人」の順に高くなっています。



男性では「道路・交通環境の整ったまち」「医療、福祉の充実したまち」を回答した割合が高くなっています。

一方、年齢別に見ると高齢者は「高齢者対策の充実したまち」を若年者は「温泉などの地域資源を活かした観光のまち」を回答する傾向が見られます。

男性

年代	道路・交通環境の整ったまち	豊かな自然を大切にするまち	自然エネルギーが活用されたエコロジーなまち	上下水道が整備され生活環境が充実したまち	防災、防犯対策の充実した安全安心なまち	医療、福祉の充実したまち	少子化対策、子育て支援の充実したまち	高齢者対策の充実したまち	温泉などの地域資源を活かした観光のまち	商業、工業などの産業のバランスがとれたまち	豊かな農産物を活かした地産地消のまち	教育環境の充実したまち	文化活動やスポーツを軸として地域が活性化するまち	市民がまちづくりに参加しやすいコミュニティーの充実したまち	無駄のないスリムな行財政運営を進めるまち	その他
70歳以上	10.2%	7.6%	3.4%	7.4%	9.8%	15.6%	4.6%	14.0%	2.6%	3.6%	5.5%	2.6%	1.3%	1.8%	9.9%	0.1%
60歳代	9.2%	8.6%	3.8%	6.9%	8.9%	15.1%	5.1%	9.8%	3.6%	5.5%	5.2%	3.3%	2.5%	2.4%	10.1%	0.0%
50歳代	9.4%	8.5%	5.3%	3.7%	6.0%	15.1%	6.0%	8.7%	5.7%	5.7%	6.4%	3.6%	3.1%	2.3%	10.1%	0.6%
40歳代	9.6%	6.7%	6.2%	3.7%	11.0%	13.8%	7.9%	8.1%	5.3%	6.2%	2.8%	4.8%	3.1%	1.1%	9.6%	0.3%
30歳代	11.0%	5.8%	6.4%	5.5%	8.9%	11.7%	12.3%	4.6%	5.8%	5.8%	3.1%	4.3%	2.8%	1.8%	9.8%	0.3%
20歳代	9.9%	8.6%	5.6%	5.6%	7.8%	9.5%	11.2%	4.7%	8.6%	5.2%	4.7%	4.3%	5.6%	1.3%	7.3%	0.0%
18-19歳	12.1%	6.9%	6.9%	3.4%	8.6%	12.1%	8.6%	6.9%	10.3%	5.2%	1.7%	3.4%	3.4%	1.7%	8.6%	0.0%

70歳以上	3位	6位	11位	7位	5位	1位	9位	2位	12位	10位	8位	12位	15位	14位	4位	16位
60歳代	4位	6位	11位	7位	5位	1位	10位	3位	12位	8位	9位	13位	14位	15位	2位	16位
50歳代	3位	5位	11位	12位	7位	1位	7位	4位	9位	9位	6位	13位	14位	15位	2位	16位
40歳代	3位	7位	8位	12位	2位	1位	6位	5位	10位	8位	14位	11位	13位	15位	3位	16位
30歳代	3位	7位	6位	10位	5位	2位	1位	11位	7位	7位	13位	12位	14位	15位	4位	16位
20歳代	2位	4位	8位	8位	6位	3位	1位	12位	4位	11位	12位	14位	8位	15位	7位	16位
18-19歳	1位	7位	7位	11位	4位	1位	4位	7位	3位	10位	14位	11位	11位	14位	4位	16位

女性では「医療、福祉の充実したまち」「防災、防犯対策の充実した安全安心なまち」を回答した割合が高くなっています。

一方、年齢別に見ると高齢者は「高齢者対策の充実したまち」を若年者は「少子化対策、子育て支援の充実したまち」を回答する傾向が見られます。

女性

年代	道路・交通環境の整ったまち	豊かな自然を大切にするまち	自然エネルギーが活用されたエコロジーなまち	上下水道が整備され生活環境が充実したまち	防災、防犯対策の充実した安全安心なまち	医療、福祉の充実したまち	少子化対策、子育て支援の充実したまち	高齢者対策の充実したまち	温泉などの地域資源を活かした観光のまち	商業、工業などの産業のバランスがとれたまち	豊かな農産物を活かした地産地消のまち	教育環境の充実したまち	文化活動やスポーツを軸として地域が活性化するまち	市民がまちづくりに参加しやすいコミュニティーの充実したまち	無駄のないスリムな行財政運営を進めるまち	その他
70歳以上	10.3%	7.5%	2.8%	7.2%	10.9%	17.4%	3.7%	13.5%	3.8%	2.3%	6.6%	2.1%	1.2%	1.9%	8.8%	0.0%
60歳代	6.3%	7.8%	4.4%	5.9%	11.1%	17.4%	5.4%	11.8%	3.5%	2.8%	6.4%	3.6%	1.5%	2.3%	9.8%	0.0%
50歳代	7.0%	7.8%	4.6%	4.2%	9.1%	16.6%	6.3%	9.9%	4.8%	5.3%	7.1%	2.9%	2.4%	3.8%	8.2%	0.1%
40歳代	8.9%	6.6%	6.8%	3.7%	9.6%	17.0%	7.3%	7.0%	5.1%	3.0%	5.2%	5.4%	1.9%	3.1%	9.1%	0.2%
30歳代	6.5%	6.0%	5.2%	3.8%	10.0%	16.0%	15.0%	4.4%	7.5%	2.1%	5.2%	7.5%	2.3%	2.1%	6.3%	0.2%
20歳代	8.3%	7.7%	5.1%	3.4%	8.6%	15.4%	9.1%	6.9%	8.9%	2.3%	6.3%	3.7%	4.9%	3.7%	5.7%	0.0%
18-19歳	8.1%	6.5%	3.2%	3.2%	9.7%	14.5%	11.3%	9.7%	4.8%	4.8%	6.5%	6.5%	3.2%	0.0%	8.1%	0.0%

70歳以上	4位	6位	11位	7位	3位	1位	10位	2位	9位	12位	8位	13位	15位	14位	5位	16位
60歳代	7位	5位	10位	8位	3位	1位	9位	2位	12位	13位	6位	11位	15位	14位	4位	16位
50歳代	7位	5位	11位	12位	3位	1位	8位	2位	10位	9位	6位	14位	15位	13位	4位	16位
40歳代	4位	8位	7位	12位	2位	1位	5位	6位	11位	14位	10位	9位	15位	13位	3位	16位
30歳代	6位	8位	9位	12位	3位	1位	2位	11位	4位	14位	9位	4位	13位	14位	7位	16位
20歳代	5位	6位	10位	14位	4位	1位	2位	7位	3位	15位	8位	12位	11位	12位	9位	16位
18-19歳	5位	7位	12位	12位	3位	1位	2位	3位	10位	10位	7位	7位	12位	15位	5位	15位

【問 19】最後に、これからのまちづくりについて、あなたのご意見、ご要望、お気づきの点などがございましたら、ご自由にお書きください。

自由記述回答より主なものを原文のまま抜粋しました（カッコ内は寄せられた意見の件数）。

①道路や橋の整備、バス交通などが利用しやすくなる取り組み（=151 件）

道路や橋の整備、バス交通などが利用しやすくなる取り組みについては、特に高齢者の方から買い物や病院へ行く際に利用できる交通網の整備についての要望が目立ちました。また、過剰に道路が整備されている箇所がある一方で、整備が遅れている箇所への早急な対応を求める声がありました。

- 主な意見 -

・渋川市は年寄りが多く、動く手段がないので（免許がない為）無料バス（市内無料）を巡回し、市内どこでも行ける様な（スーパー特に買物　食品重要）物を作って欲しい。
・新道路は歩道が整備され充実した道路になっているが、旧道路の整備が遅れており、段差があったり、整備がまだまだ遅れ拡張等も必要な箇所もあり歩道等の整備も遅れて、歩く人達特に老人が危ない目にもあっているようであり、予算もあるだろうが急いで整備をして頂きたい。
・道路の維持管理についてお願いしたいと思います。道路愛護を年２回行なっていますが、雑草や木の枝、路肩の土砂などとても住民のちからでは太刀打ちできません。通学路が狭くなっています。お願いします。
・渋川市が合併し、それぞれの旧町へのアクセスが少しずつ改善されてきたように思います。しかし、交通弱者のための手段がまだまだ充実していないようです。大きな店も郊外に増えてきているので、そちらへも行けるような格安なお金で行ける交通手段を考えて欲しいと思います。
・渋川は、交通が不便で料金も高い。これから、高齢者も増えるだろうし、車に乗れない人、乗らない人、障害者もいる。特に明保野地区は、福祉施設や長期療養中の病院入院患者さんも多く居る。その人達のためにも、伊香保温泉に運ぶだけではない、各病院や施設を周れるようなバス路線を考えてほしいし、料金も 100 円位で乗れるよう設定してほしい。

②自然環境を守る取り組み（=35 件）

自然環境を守る取り組みについては、ゴミのリサイクルを推進していくことを期待する声が目立ちました。また、自然環境を守ることで渋川市の景観を保ち、観光地としての美観を整えていくことを要望する意見もありました。

- 主な意見 -

・渋川市全体をきれいなまち作りをしていきたいと思います。まず道路脇にゴミをなくす事、観光地としての市町をきれいに！高崎より入って来る道路にゴミが多く見られる為、片付けてもまたすぐに捨てる繰り返しで、あまりきれいな所に見えません。立札などでも見える様にお願いします。
・自然を大切にしてほしい、ゴミのないまちづくりを！！
・まだまだあちこちでごみや落葉を燃やしている人たちがいます。取り締って欲しいと思います。
・捨てなくても良いものや資源ごみを、燃やすごみとして捨てているのを見てモラルがあまり高くないように感じます。他県から越してきたのですが、新聞やダンボールは分別されていればいつでも公民館の物置に入れることができたり、プラスチックや（洗ったり、きれいな物）紙類（トイレットペーパーの芯、小さい箱）まで収集したりといろいろ工夫がされていました。渋川市はそういう努力が少ないように思います。近

くの前橋市はプラの回収をしているそうですが、渋川ではなぜできないのでしょうか？　市役所にまずは持ってくるとかでもお試しでやってみる事も考えてみてほしいと思います。
・市民参加の行事と言われますが、商店主や、事業主ばかりで、一般市民への情報が乏しい。催しとなれば商工会関係者が中心であり、渋川一般市民からの企画をもっと採用すべきです。

③身の回りの生活の充実と暮らしを守る取り組み（=63 件）

身の回りの生活の充実と暮らしを守る取り組みについては、下水道の整備を求める声が目立ちました。また、防災放送の音声が小さく聞き取りづらいという意見も目立ちました。

- 主な意見 -

・防犯の為、スクールバスの整備（小、中学校）を考えてほしい。
・未だに下水道でない所が多すぎるが、いつになったら下水道にしてもらえるのか？
・群馬県全体がそうですが、交通ルール、運転マナーに対して、不満を感じる。（他県出身者として）
・震災、災害特に河川（公共施設等）の防災対策、又災害に耐えられて市民が安心して暮らせる町作りをお願いいたします。
・「防災渋川」の放送が毎回重要な所が聞き取れずにいます。災害の多い昨今です。どこからでも聞こえるようにしていただきたい。

④健康づくりや福祉を充実させる取り組み（=66 件）

健康づくりや福祉を充実させる取り組みについては、高齢者の方から、これからも安心して生活していけるように、福祉の取り組みを充実させて欲しいという意見が目立ちました。また、高齢者のご家族からも、高齢者を地域でしっかりと見守ることができる環境を整備する要望がありました。他方で、放射能汚染を懸念する声もありました。

- 主な意見 -

・放射能に対しての取り組みが低過ぎます。線量を計るだけで取り組んだと言えるのでしょうか？群馬でも渋川は数値が高いのでしっかり取り組んでほしいです。
・高齢者が安心して入院出来る施設あれば家族１番安心出来ると思う。
・医療の充実した街にしてほしい。
・日本赤十字病院のような医療体制の整った病院を渋川市に造ってほしい。
・福祉医療についてのわかりやすい説明の充実をよろしくお願いします。

⑤教育環境の整備と、文化・スポーツ活動を充実させる取り組み（=36 件）

教育環境の整備と、文化・スポーツ活動を充実させる取り組みについては、市民が気軽に利用できるスポーツ施設を求める声が目立ちました。また、既存の施設に関しても、サービスや料金の点でより利用しやすくなるような取り組みを求める意見がありました。

- 主な意見 -

・学校施設の老朽化が目立つ、例えば、水洗トイレの水流れず臭いや校舎に雨漏りをする所があったりするので、施設の改築等を考えてほしい。
・運動施設（例えば、野球場、テニスコート等）を利用するときの申し込みの手続きの簡略化と使用料金の軽減をお願いしたい。
・一般市民が自由に利用できるスポーツ施設を作ってほしいです。
・教育に関する予算を増やして充実につとめてほしい。ものより人を重視。
・もう少し文化活動に力を入れてほしい。例えば藤岡市などは渋川よりも人口が少な

く、狭いですが立派なホールがあり、アマチュアオーケストラ１つと合唱団３つがあります。その他にジュニアオーケストラもあります。市が積極的に練習場所を整え貸し出してくれています。アマチュアオケの定期演奏会には毎回７００人以上が来場しにぎわっています。渋川市も市がもう少し力を入れてくれたらなあ…と思います。

⑥観光や農業、商工業を発展させる取り組み（=109 件）

観光や農業、商工業を発展させる取り組みについては、伊香保温泉を中心とした観光資源をより積極的にアピールするように求める声が目立ちました。また、街の中心地が、昔と比べ活気がなくなってしまっていることを懸念する意見もありました。一方、農業については高齢化する農家を支援する体制作りを求める声がありました。

- 主な意見 -

・農業振興を軸とした、就農支援などで外部からの人口の流入を計るなどして、過疎化を食い止めて、住民をこれ以上減少させないで下さい！
・観光地として、他県からの人が、渋川市を「活気のある街だ」と、一目見ただけでわかれば、大変うれしい事だと思います。そんな、まちづくりが出来ていれば、良いと思っています。
・渋川駅から伊香保までの道（伊香保街道）が昔のようにチンチン電車か何か観光の目だまになるようなものがほしい。駅がさびしすぎる（人がいない）。もうすこし人が集まりやすいものを考えてほしい。せっかく緑がゆたかなのでもっと観光客をよべると思います。白井宿のようなものが渋川駅周辺にほしい！
・渋川市はすみやすいと感じております。ただ、豊かな自然があるのに、他の地区と比べ観光が盛んではありません。他の地区にないものをもっていると思うのでそこをアピールしていけばいいのではないでしょうか。一市民として、渋川市の発展を願っています。
・まちの中心街が寂れてしまっている。活力があるように感じられない。

⑦市民が参加しやすい環境を整える取り組み（=36 件）

市民が参加しやすい環境を整える取り組みについては、合併後、地域の行事に参加しづらくなったという声が目立ちました。また、イベント活動があることをより積極的に広報して欲しいという要望がありました。

- 主な意見 -

・地域に根ざしたお祭りや伝統あるイベントを今後も継続できるような町づくり運営を期待しています。そして、まちづくりは行政と市民との橋渡し役である、各支所が常に市民との輪を大切にするという気持を持つことで、スムーズな地域づくりが進むと思うので、今後に期待します。（各、担当部署の人たちが、市民との交流を密にする事。）
・イベント活動がある、ないという話があまり行き渡っていない。
・高齢者の社会参加、生きがいづくりなどの機会を更に充実して頂きたいと思います。
・地域住民の意見や考えを行政に反映させるために、自治会等の身近なところで意見を聞き、集約をするような体制づくりを望みたい。
・合併前に比べ各イベントに参加出来なくなって取り残された様な感じがする。

⑧無駄のないスリムな行政運営を行う取り組み（=101 件）

無駄のないスリムな行政運営を行う取り組みについては、施設の建設や道路の工事が過剰ではないかと懸念する声が目立ちました。また、市が行う事業について一部、疑問を呈する声もありました。さらに、市職員へより一層勤勉に勤めるように求める意見もありました。

- 主な意見 -

・将来のため行政のスリム化を真剣に考え実行に移してほしい。アンケートだけで終ら

せないで、何か市民の考えを取り上げて活してほしいですね。市民が住みやすく、活気ある渋川にしてほしいと望んでいます。　頑張って下さい。
・スリムな行財政運営ですが、職員と議員の数がまだまだ多いのではないですか？たまに市庁舎へいっても仕事しているのかなと思えるケースが多い。課によっても違うのでしょうか。市は税収に頼るだけでなく、利益を出す自治にする事も考えたほうが良いと思います。
・市財政が厳しくなる中、いまこそ行政の見直しが必要と考えます。慣例というだけで前年と同じ行政、予算配分では市の発展は難しいと思われます。必要なこと、不必要な事業を見極めることが大切と思います。
・今後無駄のない行政を望みます。市役所では、私語が目立ちます。
・もっとスリムな行政運営を！

⑨その他（=89 件）

その他の意見については、上記８項目に分類できないもののうち、税金が高すぎるのではないかという意見が目立ちました。また、合併に対する意見も多く、特に合併によって取り残される地域が生じているのではないかと懸念する声がありました。

- 主な意見 -
・水道料金が高いのに困ってます。以前、高崎市と前橋市に住んでいた事がありますが、あまりの違いにただただビックリしております。
・市街地だけでなく市外にも目をくばってほしい。
・合併して渋川も広くなりましたけど、前橋みたいに独身の人集めて、大規模なお見合いをやったらどうでしょうか。
・僻地にもしっかりと目を向けて頂きたいです。
・今の渋川市は、旧渋川と伊香保ばかりに力を入れて他の地域をおきざりにしていると思います。合併して良かったと思わせてもらいたい。